

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.153
(2009年 1月発行)



太宰府天満宮楼門 写真提供:松田 忠康さん(51回生)

新年のご挨拶



**目標を見失わず、
先頭に立つ勇気を**



理事長
山口 毅

新年明けましておめでとうございます。
新しい年を迎え皆様には、希望に溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
二〇〇二年一月をボトムに始まった景気の回復は、ほぼ六年間続いた息の長いものでしたが、この間企業は、事業再編や人員削減を急ぎ、収益力や競争力を高めて来ました。日本では、少子高齢化が急速に進展し、人口減少が今後の経済成長を制約する恐れが出てきており、企業や個人の活力を引き出すような構造改革が望まれています。しかしここに至ってアメリカの金融危機に端を発した世界経済の減速が顕在化し、今後さらに輸出の伸び悩み等といった外的要因による景気の悪化が、先行き不安材料となってきます。
日本経済は、外需主導で成長を続けてきましたが、世界経済が減速してくるとこれが成り立たなくなります。日本が、もの作りという強みを守って新しい分野・サービスへの競争力を発揮し、新たな成長戦略としてハイブ

リッド車や環境対応車、燃料電池車、薄型テレビやデジタル化、ロボット、アニメなど世界で支持されるコンテンツ産業などの、日本が誇る高度な技術力、ソフト開発力に一層の磨きをかけると、国際競争に打ち勝つ余地は、将来とも十分あると考えます。

学校で学んでいる学生諸君にとっては、厳しい雇用環境になりましたが、企業は常に国際環境にさらされています。そして企業は採算が悪かったり将来性が望めなかつたら、すぐにその分野からの撤退など、「選択と集中」を進めるといふことを念頭において、社会人としてのマナーや正しい判断力、豊かな一般知識、教養等を、しっかりと学んで貰いたいと存じます。前向きに誠実な行動力とタフさをもった、柔軟な課題解決力のある人材が望まれます。

創立一〇〇年を迎えた二〇〇〇年に総合学科を導入し、学校名も福翔高校と改め個性ある学校づくりに取り組んで来りましたが、来年二〇一〇年には、創立一〇〇年の節目を迎えます。「福商一〇〇年記念史」の編纂には、各学年の理事・代議員の方々のお力添えをお願いしていますが、福商の変遷、歴代先生方の思い出・苦労話、文化部の珠算部、速記部、タイピング部、体育部の剣道部、フグビー部等全国大会出場の歴史、また社会人となつての諸先輩の活躍等を幅広く掲載したいと存じますので、ご寄稿、ご紹介のほど、ご協力をお願い申し上げます。福商会としましては、

駿台予備校の「駿台サテネット」を利用し、大学受験の最前線の講師陣の授業や授学金の援助など、一層お役に立つよう引き続き力を入れたいと存じます。同窓諸先輩方には、福博の経済活性化、同窓生の活動拠点として、今後とも更なるご協力、ご尽力をお願いし、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。

真価を問われる年を迎えて



福翔高等学校
校長 **宇土 健治**

新年明けましておめでとうございます。
福商会の皆様には、素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本校教育の充実発展のため、一方ならぬご支援を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

さて本校は平成12年度に総合学科に改編して以来の「平成の福翔改革」を、この間の学校の有り様を踏まえ、より確かな改革に邁進する「福翔改革セカンドステージ」という学校改革を平成18年度より継続し、「特色ある総合学科」として、生徒の進路実現を最優先にさまざまな取り組みをいたしてまいりました。そしてセカンドステージ3年目の本年、進路実績の成果を出す年でもあり、真価を問われていると言っても過言でないと思います。新たな決意でこの新年を迎えております。幸いなことに、意欲的な生徒たち、そして熱

心な指導をしていただいている先生方のおかげで、生徒たちも順調に伸びてきております。ラストパートで、目標達成にむけて最大限の努力を傾注する所存です。注目していただきたいと思います。
福商会の皆様には、今後とも、母校並びに後輩に対してさらなる物心両面にわたる温かいご支援、ご協力をくださいますよう、衷心よりお願い申し上げます。
結びになりますが、福商会の更なるご発展、並びに会員皆様の益々のご活躍にご健勝を祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

CONTENTS

新年挨拶	2	同舟往来	22
理事会報告	3	書評	23
中牟田氏追悼特集	4~7	トピックス	24
支部だより	8	談笑室	25
さくら会だより	9	南北アメリカ大陸縦断記	26
学園だより	10~11	福商 100 年史	27
恩師シリーズ	12	会費納入者一覧	28~29
青春プレイバック	13	企業紹介	30
同窓会だより	14~20	広告	31
随想	21		

第4回

理事会開催



故中牟田喜一郎元理事長に黙祷

定例の理事会が10月24日、福商会館で開かれました。会に先立ち、10月18日に亡くなられた福商会元理事長の中牟田喜一郎氏（30回生）に哀悼の意を表し、理事全員で黙祷を捧げました。

報告の中では、新公益法人制度が12月から施行されることから、福商会も新たに社団法人の申請を行わなければならないと、事務局から概要について説明がありました。また、初代理事長の中牟田喜兵衛氏（8回生）の顕彰碑除幕式を2月6日に福商会館で行うことを確認しました。

この日は母校の宇土健治校長にも出席

していただき、大学に進学する生徒の成績や就職状況について、「今進めている『福翔改革セカンドステージ』の成果が期待される」と報告がありました。

一 報告事項

- 一、収支報告（4月～9月）
- 二、新公益法人制度について
- 三、年会費納入報告（4月～9月）
- 四、中牟田喜兵衛氏顕彰碑除幕式について
- 五、母校の現況について

《新公益法人制度の内容》

従来の公益法人（社団法人・財団法人）は、公益社団・財団法人または一般社団・財団法人のいずれかに移行することになります。（移行期間 平成20年12月1日～平成25年11月30日）

公益社団・財団法人への移行申請

【認定の基準】

- ◎公益目的事業比率が、（費用で計って）50/100以上
- ◎経理的基礎及び技術的能力を有すること
- ◎法人関係者に特別の利益を与えないものであること等
- ◎法人税 原則非課税
- ◎寄付金税制…あり

一般社団・財団法人への移行申請

【認可の基準】

- ◎法人の作成した公益目的支出計画について、その計画が適正であり、かつ確実に実施されると見込まれるものであること等
- ◎法人税 収益事業のみ課税又は全事業に課税
- ◎寄付金税制…なし

本会も移行期間の間に、いずれかへ移行するか、検討を行い、総会で諮ることになります。

三者懇談会開催

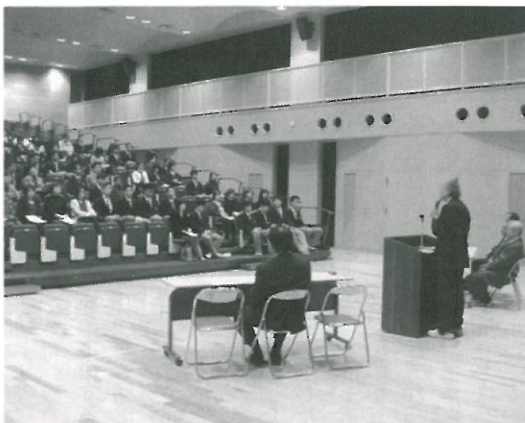
定例の三者懇談会が10月31日、福翔高校で学校、PTA、福商会の出席により開かれました。意見交換のなかで、進学状況として、9月に行われた進研模試では、昨年より結果が良くなっているとのこと。また、就職環境が厳しさを増しており、現在の内定率は63%で、就職先の紹介などの要望が出ました。最後に宇土校長から学校創立110周年記念事業（2010年）として「資料室の設置、玄関前の整備」について取り組むとの説明がありました。

母校奨学生へ
奨学金給付

平成20年度は51人に支給

福翔高校多目的ホールで10月30日、平成20年度の奨学金説明会並びに支給式が保護者出席のもと行われました。福商会からは安河内副理事長、後藤専務理事らが出席し、本年は昨年の30人から51人に増え、生徒へ奨学金が渡されました。

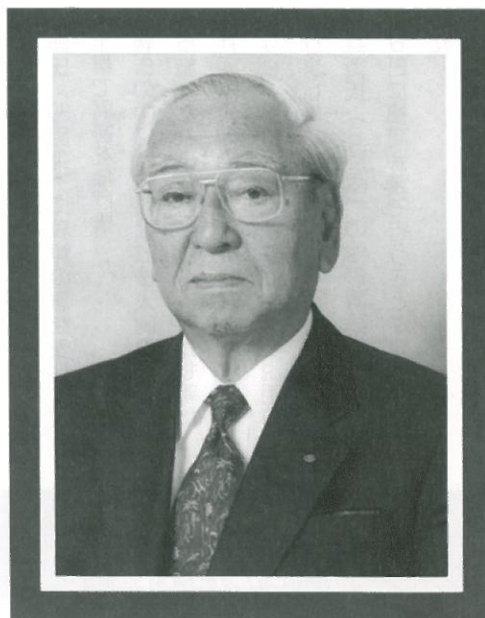
宇土校長から「福商会奨学金」のこれまでの経緯や奨学金規程の説明のあと、後藤専務理事から「先輩たちの母校にたいする熱い思いが脈々と続いており、今年も奨学金を渡すことが出来ました。皆さんも誇りを持って、素晴らしい学校となるよう努力してください」と激励の言葉がありました。



ご冥福をお祈りいたします

中牟田先輩を知る同窓の皆様から、故人を偲ぶエピソードが寄せられました。お元気なころの人情に厚く、温厚なお人柄がひしひしと伝わってきます。

母校を愛し、同窓の絆を大切にされた



父、中牟田 喜一郎

父とスポーツ

昭和四十七年、留学中だった私を、父がシカゴ郊外エバンストンに訪ねて来ました。直前に開催されたドイツでのアジア大会選考会議で福岡は落選、その帰路でした。思いのほか対日感情が悪く、目論見がはずれたようで、かなり落胆していました。

その後、ユニバーシアード福岡誘致では、スペイン・マジヨルカ島に、続く世界水泳誘致ではオーストラリア・パースに赴きました。この二大会、特に世界水泳は、下馬評に反して逆転成功でした。両大会は日本陸連の青木さん、日本水連



ご家族と一緒に(昭和36年頃)

の古橋さんのご尽力がなければ難しかったと、父は心から感謝していました。

余談ですが、父がシカゴ滞在中、ロータリー第一番目のクラブにメイキャップをしました。父が突然壇上に呼び上げられ、ゲストスピーチを求められた際には、私の方が冷や汗をかきました。

父は戦後、いろいろなスポーツ団体のお世話役を仰せつかりましたが、テニスのお世話は私達の生活の中に入り込んでいました。昭和二十三年第三回福岡国体では、物資の乏しい時代のこと、東公園県営テニスコートを、テニス仲間と一緒に手作りで作成したそうです。毎年の国体には、九州テニス協会役員兼選手として、母と仲良く参加していました。私が赤ん坊の時は、母が試合中のコートサイドで、父がおむつを替えていたそうです。昭和三十四年、当時の皇太子様ご成婚の折には、「テニスコートに咲いた恋の先輩として、雑誌に取り上げられた」ともありました。ちなみに美智子皇后陛下の聖心女子大学時代のテニスの先生は、母の父、加茂国夫です。

テニスが父の仕事とすれば、趣味はゴルフでした。年間六十回以上プレーすることが目標で、猛暑でも大雨でも決して自分からは中止にしない人でした。父が楽しみにしていたゴルフ大会に「親子三代ゴルフ」があります。直系三世代が十組ほど集まり、毎年競技をしていました。福岡では佐田外科の現在の院長が、当時の孫仲間です。

父の性格

父は外での印象と違って、好き嫌いが結構はつきりした性格でした。食べ物にも人

にもです。それでも、昔お世話になった方々にはきちんと義理を通しました。新幹線で大阪に向かっていた時、急に途中下車すると言いついたことがあります。お世話になった方が引退され、その地方に住んでおられるのを思い出したそうです。

父が口下手ということもあってか、父とは真面目な話をした記憶がありません。ただある時、仕事の愚痴を父の前でこぼした事は憶えています。私の話を黙って聞いた後にひと言、「わしが社長になった昭和二十二年は、会社が成り立つかどうか分からなかった。業界もそうだった。それ以上に、国の将来が誰にも分からなかった。それでもわし等はここに居る。今のお前は、目の前の会社のことだけを考えていれば良いのだろ」と言いました。自分で考え、意志決定をしないと言いたかったのだと思います。それにしても大正生まれは強い、と感じました。

最後に

多くの方々に愛され支えられた父でした。今回もまた、父のためにお忙しい中、ご遠方より「お別れの会」にご参列を頂き、心より感謝致しております。会場に揃えられた父の思い出の写真と共に、最後の同窓会をして頂けましたら幸甚に存じます。

中牟田家を代表して

中牟田 健一

文は、平成20年11月27日に行われた「お別れの会」で、参列者の皆様にわたされたものです。

中牟田喜一郎元理事長の

福商会元理事長の中牟田喜一郎先輩(30回生)が、平成20年10月18日心不全のため逝去されました。中牟田元理事長は、福商会並びに母校の発展に多大なる功績を残されました。ここに謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。享年93歳でした。

同窓の皆様より

懐の深い人情家

理事長 山口 毅(52回生)

郷土をこよなく愛し続けられた、偉大なる博多商人である故中牟田喜一郎様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

私にとっての出会い、尊敬する福商の偉大なる大先輩であり、福博経済界のリーダーである中牟田さんを、岩田屋副社長であった中牟田栄蔵さん(35回生)のご紹介で、福商出身の商人でつくる「いざや会」に入れて頂いたことに始まります。

年4回の料亭での「いざや会」例会後は、決まって中洲巡業となっていました。

中牟田喜一郎さんは、好きな芋焼酎「伊佐美」の一升瓶を、ご持参されて話題が弾みました。残った「伊佐美」は、当時

40歳台で一番若い私が、ぶら下げ役で二次会の中洲へと持って回っていました。

色々な会合で同席すると、多彩な方々を紹介して頂きました。中牟田さんは、人徳の人であり、温かく決して高ぶることのないお人柄は、誰からも親しまれ尊敬されました。人と語り合い、情報を集め、博多商人の原点を、

正に中牟田さんから身をもって教えて頂いたと思っております。

弊社、本社棟を昭和62年10月竣工に当たって定礎の揮毫を、お願い致しましたところ、「将来に残るからなあ、プレッシャーになるよ」といいながらも快く書いて頂いたことが、当社の記念碑となりました。

福商会の初代理事長は、中牟田さんのお父上の喜兵衛さん(8回生)。喜兵衛さんは、母校愛も人一倍強く、福商のことなら一も二もなく、今の福商会館の建つ土地三百三十平方メートルを寄贈して頂きました。

また喜一郎先輩は、二代目福商会理事長として、23年間も務めて頂きましたが、福商会館建設に当たっては、大変ご尽力頂きました。建設資金の内、募金が千五百万円どうしても集まらず、支払いの内容証明までくる始末で苦慮しましたが、「そりゃ、難しかろうばってん話しちゃろ」と、「いざや会」のメンバーに事情を話され、一両日中に募金を集めて頂きました。人徳の程が伺われる出来事でした。

岩田屋を、九州一の売上を誇る百貨店に育て、福岡市・天神を九州の商都に押し上げた功労は、地元経済界の旗頭として、また各界の懐の深い人情家として、福博の人脈に語り継がれることでしょう。立派な商人を育て、郷土の発展の礎を築いた福商会の大先輩として。

福商会に多大の貢献

前理事長 山崎 孝一(42回生)

元福商会理事長中牟田喜一郎先輩の訃報に接し、天寿を全うされたとはいえ幽

明を異にした今、先輩の存在の大きさを改めてひしひしと感じております。

先輩は、福岡はもちろん九州の財界においても広く活躍される一方、日本テニス界の発展にも大いに寄与され、また在福岡タイ王国名誉総領事も務められるなど、大変ご多忙のなか昭和55年福商会第二代理事長に就任されました。

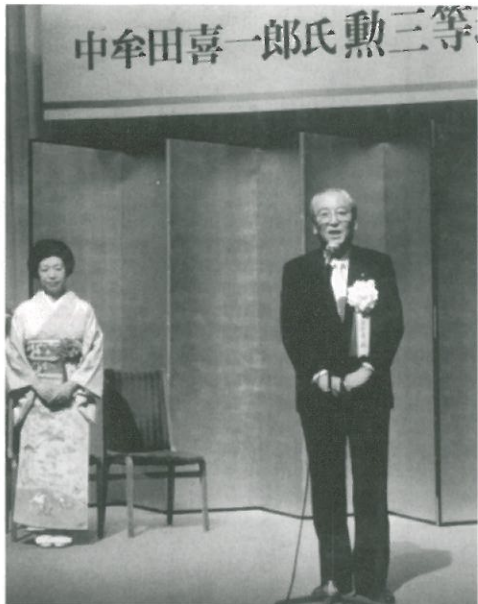
福商会館は、中牟田喜兵衛初代理事長(当時岩田屋会長)が、昭和27年に現在の土地を寄贈されたことよって、木造二階建ての全国の高校では最初の同窓会館を建てることが出来ました。それによって社団法人としての認可を得、社会的にも信用ある社団法人福商会が生まれしました。市の中心部に会館を持ち、活動している高校の同窓会は、全国でも福商会だけではないかと思えます。

中牟田家からは土地の寄贈を賜り、理事長として二代にわたり発展の基盤を築いて頂きました。深くふかく感謝いたしております。

また、私個人といたしましては、先輩ご夫妻と「カナダ」や「シドニーオリンピック」への海外旅行、秋の「湯の平温泉」、冬は門司の「フグ料理」「いざや会」「九州金融懇話会」「アサヒビールの会」、ゴルフの「等接会」や現在も続いております毎週の「木曜会」と大変お世話になりました。

何と申しまして私が今日ありますのは、先輩の深いご指導ご鞭撻の賜物でございます。そのご恩の一端に報いるべく、このこえとにも精進したいと思っております。

次ページにも追悼特集



勲三等端宝章受章祝賀会(昭和63年)

福商創立100周年記念行事



福博100年史会場(平成12年)



福商会ゴルフ大会(平成12年)



スポーツOB交流会(平成11年)

弔句

大心身を
(30回生)

秋の空 汝の白球の音いより

安子郎

汝がすすめしブランド 焼酎身は

安子郎

陛下の前の 汝のほろよりの

安子郎

誰からも慕われる人柄

博多輸出絹織 株式会社

代表取締役会長

後藤 長兵衛(31回生)

中牟田喜一郎さんと私は、福商の入学が同じでしたが、私が病気により一年遅れたため、卒業してからの付き合い合いました。同じ博多商人の町に生まれ、彼が岩田屋の社長・会長として頑張っていたので、私も切磋琢磨したものでした。

中牟田さんは福岡天神地区の発展に、お父上の喜兵衛先輩と親子二代に亘って貢献され、また、同窓会理事長として親子二代で半世紀、母校並びに同窓会の発展に尽力されました。一同窓生として感謝しております。彼は、誰からも好かれ、ざっくらばんな博多を代表する人だったと思います。ゴルフをした時に「後藤君、たった一つ親孝行したことがある。親父さんにゴルフを勧めたことだ」と笑顔で話してくれたことが、今も懐かしく思い

出されます。
中牟田さんのご冥福を心よりお祈りいたします。
合掌

卓抜した視野と温情

株式会社 福岡銀行

顧問 後藤 豊彦(45回生)

故中牟田喜一郎先輩の御霊前に謹んで追悼のこころを捧げます。

中牟田先輩は1945年、株式会社岩田屋に入社され、創業者である父親の喜兵衛氏のあとを継ぎ、47年から38年間にわたり社長を務められました。その間、天神の岩田屋新館や久留米店、西新店と多店舗展開を図り、九州最大の百貨店としてその地位を確立されました。更に、サニーやニック等の関連会社を設立され、九州の流通業界の雄としてリーダーシップを発揮されますとともに九州百貨店協会会長、福岡商工会議所副会頭、経済同友会幹事等々歴任され、九州経済の発展に大きく寄与されました。

日本テニス協会会長のほか、タイ国名誉領事、福岡県ボイスカウト会長、福岡一口タリークラブ会長、茶道裏千家淡交会九州地区長等を歴任され、スポーツの発展はもろろん、地域文化向上のため各分野でご活躍されました。特に愛されたテニスでは、デビスカップの日本選手団の監督・団長として渡米され、世界にその名をとどろかされました。

また、我が母校福岡商業高校の同窓会長として、お父上から二代続いて勤められ、母校および、同窓会の発展に大きく寄与されました。

中牟田先輩の大きな足跡は九州経済の発展、スポーツ文化各般にわたりその名



写真提供 西日本新聞社

プレー姿の中牟田先輩(昭和53年頃)

は永久に後世に語り継がれることでしょ
う。今はただ公私にわたりご薫陶を賜った
こと、そして大きな示唆とご指導をいただ
きましたことに深く感謝申し上げる次第で
ございます。

あらためて中牟田先輩の卓抜した識見、
視野と温情あふれるばかりのお人柄と生き
ざまに、敬虔なる謝意と敬意を表し、お別
れのご挨拶といたします。 合掌

母校愛と奉仕の精神

元専務理事 蔵本隆 (44回生)

10月8日午後、携帯電話に中牟田喜一
郎元理事長からお電話が入りました。だ
いぶ弱っておられました。一時的な症
状であり、お元気になるだろう、と
いうことで安心したことでした。ところ
が、思いもかけぬ訃報に呆然自失、今
もって信じられぬ思いであります。

博多の大将で、福商精神の権化であつ
た中牟田元理事長の柔和なまなざしが目
に浮かび、悲しみは募るばかりで、まこ
とに辛いお別れとなりました。元理事長
は、明治・大正・昭和と60年間にわたり、

お世話いただいた初代中牟田喜兵衛理事
長の後を受け、昭和55年から福商会のご
指導を賜りました。

理事長に就任された時に、「親子二代に
わたる理事長就任は、他に例を見ないの
ではないか。これは、同窓生相互の和気
あいあいとした親愛の情が横溢している
からで、これこそ福商会の本領ではない
か」と申しておられました。

この間、バブル崩壊による厳しい社会
情勢の変化のなか、母校創立80周年記念
事業としての新福商会館の建設、母校福
岡商業高校の「商業学科」から福翔高校
への「総合学科」改編、母校創立百周年
記念事業と、21世紀における母校の体制
作りに寄与されました。また、福商会館
の効率的利用にご理解をいただき、今日
の確固たる財政基盤を確立することがで
きました。ちょうどこの時期は、公私とも
大変お忙しいときにも拘わらず、面会
をお願いすると「福商会は別格だから」と
即座に時間を作っていたいただきました。
移動する車の中の慌ただしいご報告や
ご指示も、今は懐かしい思い出となりま
した。

福商会が今日あるのは、同窓
の和と友情を常に念頭においた
母校愛、高潔な奉仕の精神によ
るもので、ただ感謝いたしますのみ
でございます。いまはただ、ご
遺徳を偲び、有難うございまし
たと申しあげるのであります。

今後、福商会会員一同、団結
して母校および福商会発展に努
めますことをお誓い申しあげ、
謹んでご冥福をお祈り申しあげ
ます。 合掌

主な経歴

学歴

- 昭和3年 奈良屋小学校卒業
- 昭和8年 福岡商業学校卒業
- 昭和12年 山口高等商業学校卒業
- 昭和15年 神戸商業大学卒業

職歴

- 昭和15年 岩井産業株式会社入社
- 昭和20年 株式会社若田屋入社
- 昭和21年 取締役就任
- 昭和22年 同社 取締役社長
- 昭和60年 同社 取締役会長
- 平成14年 同社 特別顧問

公職に関する経歴

- 昭和38年 九州経済調査協会常務理事
- 昭和45年 九州山口経済連合会理事
- 昭和51年 福岡県経営者協会副会長
- 昭和52年 福岡商工会議所副会長
- 昭和54年 福岡市レクリエーション協会会長
- 昭和55年 福岡広告協会会長
- 昭和55年 社団法人福商会理事長
- 昭和58年 福岡経済同友会恒久幹事
- 平成2年 福岡県厚生年金受給者協会連合会会長
- 平成2年 九州マーケティング協会会長
- 平成3年 福岡県体育協会会長
- 平成7年 福岡県スポーツ振興公社会長
- 平成7年 福岡貿易会会長
- 平成12年 同名舎会長
- 平成14年 福岡県体育協会名誉会長

関係団体に関する経歴

- 昭和26年 都心会会長
- 昭和50年 茶道裏千家談交会理事 九州地区長
- 昭和54年 西日本オベラ協会後援会会長
- 昭和54年 国際ロータリークラブ 第2700地区バスターガバナー
- 昭和54年 九州タイ友好協会会長
- 平成元年 福岡さくらの会会長
- 平成2年 梅若六郎後援会会長
- 平成5年 福岡アサヒ会会長
- 平成8年 在福岡タイ王国名誉総領事

賞罰

- 昭和47年 西日本スポーツ賞受賞
- 昭和55年 藍綬褒章受賞
- 昭和56年 朝日体育賞受賞
- 昭和57年 福岡市民スポーツ賞受賞
- 昭和61年 タイ王国王冠賞チャタホン受賞
- 昭和61年 文化大臣表彰体育功労者受賞
- 昭和62年 勲三等瑞玉章受賞
- 平成3年 タイ王国白象章受賞



ご貢献を讃え、胸像を製作中です

支部だより

京阪神支部同窓会
年々参加者も増加

20年度京阪神支部同窓会が11月8日(土)、大阪市中央区のホテル・ザ・ルーテルで開催されました。小雨模様の肌寒い天候にもかかわらず、会員43名、本部より後藤専務理事、川瀬事務長、母校から宇土校長がご出席下さり、計46名と最近にない大勢の参加者となりました。

冒頭、倉成支部長(33回生)より、支部長職を先輩に譲りたく辞任の申し出があり、新支部長に杉田隆正氏(62回生)が選出されました。倉成支部長は会則、会計のルール化等支部発展のため、ご尽力いただきました。六年間にわたり本当に有難うございました。杉田新支部長には今後の活躍を大いに期待しております。

懇親会は、柴田氏(46回生)の乾杯の音頭ではじまりました。今年は例年以上に参加者が多いこともあり、初参加の方も含め、会員同士の話も大いに弾み、日展書道の部に入選という快挙を達成された、田代氏(59回生)のお話を聞くことができました。徳安氏(46回生)の「博多にわか」、バナナのたたき売りの実演、詩吟の披露があり一回大喝采、しばし博多の世界に浸ることができました。続い



前列右から3人目、倉成前支部長

て高田氏(65回生・元応援団長)による応援歌の数々と、校歌を思いきり大きな声で歌い、良き青春時代へタイムスリッブして、大いに盛り上がりました。

支部の目的である会員相互の親睦と融和を図り併せて母校の発展を願うということが、十分かなえられたのではないかと思います。

事務局 山口 利彦(62回生)

京阪神支部長退任挨拶
倉成敬造(33回生)

11月8日の京阪神支部の同窓会の席上で、「本日をもって支部長を辞任します」旨の挨拶を申し上げ退任しました。

平成14年11月9日同窓会の席上、支部長に就任し本日まで満6年が経過しました。当初は同窓会の輪郭の把握に努めましたが、数名の幹事の努力、協力により組織化が整い、支部会則も就任早々作成し現在に至っています。また毎年支部活動助成金を本部より頂戴し、最大の有効利用を図り、毎年同窓会の参加者が徐々に増加している事は、その成果が挙がりつつある結果だと思います。今後とも新支部長の下、幹事の皆さん方の努力で、更なる発展が見られる事を期待します。

私事ですが、本年卒寿(数え歳90歳)になりました。一昨年の米寿では、福商会本部より結構なる祝い品を頂戴しました。日本は世界中で最も早い高齢化が進んでいると聞いています。次の祝い歳は白寿(数え歳99歳)です。これから白寿に近づくと、十分に健康に留意していきたいと思えます。今後の余生の生き甲斐の一つとして、福商会の全国同窓会及び京阪神支部の同窓会には是非参加したいと思えます。

最後に福商会の益々のご発展と会員皆様方のご健康とご多幸を祈念してご挨拶を申し上げます。

第4代京阪神支部長
就任挨拶
杉田隆正(62回生)



今回、倉成敬造氏(33回生)の後任として第4代京阪神支部長に就任しました。

昭和39年より40数年京阪神で暮らしております。福商会京阪神支部との関わり合いは、昭和49年に福商サッカー部が全国大会に出場した時、京阪神支部の皆さんと、鞆(たづな)サッカー場(大阪市西区)に駆けつけて応援しました。それ以来、故石井公代(20回生)初代支部長、古森敬造(34回生)第2代支部長の下で、幹事として福商会京阪神支部の運営に携わってききましたが、時には10人たらずの総会の時もありました。そのとき故石井支部長は、「一人でも会員の方が来られるのは、福商会京阪神支部があるからや」と言われたことが心の奥に残っています。

平成7年に阪神大震災に被災したときは、本部より多大の援助を頂きました。同窓会というものは、本当に有難いものだと思っております。その後本部より、新情報の提供のおかげで、年々出席される会員の方が増え、総会のほうも盛況になりました。伝統ある福商会京阪神支部発展のため、有意義な企画運営をし、より多くの会員が参加されやすい支部にしたいと考えています。これからもよろしくお願い致します。

さくら会だより

さくら会は、誰でも気軽に参加できる会。毎回みんなで集まっては、ワイワイ楽しく盛り上がっています。皆さんの参加を是非お待ちしております。

さくら会第3回イベント 「出光大先輩に学び・福翔高校の今を訪ねる旅」

バスハイクに参加して

10月17日(土)、博多駅に集合し、大型バス2台に約70名が乗り込んで出発(お茶とおやつ付き)。東福岡高校(元福岡堅粕校舎)散策後、福翔高校に向かい、校長の歓迎挨拶やDVDでの学校紹介、箏曲部による演奏も披露され感激しました。また、福商会から援助されたサテライト講座の実地体験やバスケットボール



福翔高校多目的ホールにて

部、剣道部などの練習風景を見学し、学生時代を思い出しました。時間はあっと言う間に過ぎ、「もう少し時間があればなあ」と良い思い出になりました。



出光美術館にて

バスは一路、門司港レトロ口へ。港を見渡せる「海峡ふくステージ」で昼食。出光美術館では、「仙崖名品展」が開催されており、裡面に癒されながら、出光大先輩の業績と、人となりを知ることができました。門司港レトロ散策やソフトクリームを食べながら、バナナのたき売りのパフォーマンスに見とれ、病をおして参

加した友達たちと、一緒に参加できた喜びを感じた一日でした。帰りのバスでは、抽選会もあり、有意義な一日を企画してくださった、さくら会の実行委員の方々、ジョイトラベルの眞武祐一さん(69回生)、たくさんのお協賛をいただいた皆様へ、心から感謝します。

毛利 眞紀子(69回生)

さくら会 そうじ ボランティア隊

昨年からはまった福翔高校への掃除ボランティア。9月11日は、花壇の植え替え作業。10月の全校トイレ掃除は、宇土校長を筆頭に、先生方・現PTAのお母様方と、もちろん沢山の生徒さんも一緒に汗を流して、トイレ大掃除タイムでした。参加の皆さんと親しく会話できる機会に恵まれ、楽しい共同作業でした。

みなさん！平日ですが、母校への「そうじボランティア隊」に参加できる方々を募集中です。福商会までご一報お待ちしております。

さくら会代表 平田 哲子(64回生)



福翔高校にて



母校の部活動について紹介していきます

**福翔
高校**
FUKUSHO

現役福翔高校生の部活ライフを覗いてみよう!

部活動紹介

▶ VOL.03

今号は
バスケットボール部
を紹介!

**全国大会出場を
目指して**

男子バスケットボール部は、昨年で創部80周年を迎えました。その長い歴史の中で、全国大会、九州大会などに数多く出場し、平成7年度に鳥取で行われたインターハイでは、準優勝を収めるなど輝かしい成績を残してきました。また、日本のトップリーグで活躍する選手も多く輩出してきました。現在も卒業生がbjリーグの福岡ライジングに所属し活躍しています。

現在の部員数は、3年生17名、2年生12名、1年生8名の合計37名です。練習は、平日の放課後および休日には終日行い、夏休みや春休みには、校内合宿や県外遠征を行っています。その他にも多くの招待試合に積極的に参加し、試合感覚を養うことでチームの強化を図っております。

冒頭にも書きましたが、私たち男子バスケットボール部の目標は、全国大会出場です。そのためには福岡県で上位2チームに入らなければなりません。先日行われたウインターカップ福岡県予選では、準決勝で敗れ第3位でした。あと一歩のように見えますが、私たちが全国大会出場するためには、ここに大きな壁があります。福岡県内には、留学生や全国から優秀な選手が集まる高校が複数あり、目標達成はたしかに厳しいのが現状です。しかし、難しいからやらないのではなく、



対戦中のバスケットボール部

だからこそやりがいを感じ、チャレンジ精神を持って、今までにない喜びや達成感を味わうために、日々練習に打ち込んでいます。

最後になりますが、福商会ならびに福翔バスケットボール部OB会の皆様には、多大なご支援とご協力をいただき感謝しております。皆様の期待にこたえることが出来るよう日々監督、選手ともに頑張っておりますので、今後とも応援よろしくをお願いします。

福翔高校バスケットボール部

顧問 山田 耕史

見事!! 公認会計士試験に合格(母校卒業生)

本司 敬宏さん(101回生)平成15年3月卒業 総合学科1期生

卒業後、九州大学経済学部へ進学(現役合格)、大学在学中に大原簿記専門学校にダブルスクールで学ぶ。大学卒業後、2回目の受験で合格。12月1日から監査法人に就職。

中川 理香さん(旧姓=松本 102回生)平成16年3月卒業 総合学科2期生

卒業後、福岡市農協へ就職。20歳の時、結婚退職。公認会計士試験の通信教育を受けて、2回目の受験で合格。12月1日から監査法人に就職。

平成20年8月に行われた公認会計士試験に合格されました。心からお慶び申し上げますとともに、お二人の今後のご活躍をお祈りいたします。

公認会計士・監査審査会ホームページ <http://www.fsa.go.jp/cpaao/>

平成20年度福翔高等学校体育・文化部活動成績《8月～11月県大会以上》

体育部

陸上競技部

◆全国高校総体陸上競技大会 7月28日(月)～31日(木) さいたま県熊谷スポーツ公園陸上競技場
 良永 博美 走高跳 1m65 予選落ち
 ◆新人陸上福岡県大会 9月13日(土)～14日(日) 博多の森陸上競技場
 荻阪 諒 110mH 6位 16秒47
 椎葉 了介 100m 5位 11秒31
 椎葉 了介 200m 5位 22秒73
 良永 博美 走高跳 4位 1m54
 河野 彩花 走高跳 4位 1m48
 男子400mリレー予選 (荻阪・椎葉・遠矢・白水) 2位 43秒38
 男子400mリレー決勝 (荻阪・椎葉・遠矢・白水) 5位 43秒25
 高山 友里 400mH 6位 67秒16
 松田 裕伸 円盤投 12位 28m66
 於保 勇希 三段跳 12m38
 谷 遼介 八種 3768点

バスケットボール部

(男子) ◆第1回唐津旗争奪バスケットボール大会 8月9日(土)～10日(日) 唐津東高校
 1回戦 ○福翔 66-41 龍谷 2回戦 ○福翔 75-50 伊集院
 3回戦 ○福翔 66-49 柳川 4回戦 ○福翔 68-66 糸島 ※優勝
 ◆オクイカップ 8月23日(土)～24日(日) 柳川高校
 1回戦 ○福翔 71-64 稲築志耕館 2回戦 ○福翔 65-42 福岡第一
 3回戦 ○福翔 52-35 祐成 4回戦 ○福翔 53-51 宗像 ※優勝
 ◆選抜優勝大会福岡県大会 9月13日(土)～14日(日) アクション福岡
 1回戦 ○福翔 73-72 福岡西陵 2回戦 ×福翔 71-141 福大大濠 ※第3位

ソフトボール部

◆公立大会福岡県大会 8月2・3日(土・日) 糸島高校・福岡西陵高校 (一部決勝トーナメント)
 1回戦 ○福翔 2-1 北九州市立高 2回戦 ○福翔 2-1 福岡中央
 決勝 ×福翔 0-5 三瀬 ※第2位で公立高校九州大会出場

バレーボール部

(女子) ◆新人戦中部予選会 10月25日(土) 早良高等学校
 ○福翔 2-0 精華女子 ×福翔 1-2 福岡女学院 ※県大会出場

卓球部

◆全国高校総体ソフトテニス選手権 7月27日(日)～31日(水) さいたま県川口市青木町運動公園他
 1回戦 ×奥村・福元組 3-4 貞政・柳生組(奈良商業) ※1回戦敗退
 ◆福岡県高等学校ソフトテニス新人大会 11月2日(日)～3日(月) 新宝満川テニスコート
 (女子個人) 権頭・樋口組 1回戦 3-4 土屋・白石組(小倉南) ※敗退
 馬場・中島組 2回戦 1-4 有吉・金子組(小倉南) ※敗退
 山本・田中組 2回戦 3-4 大場・池田組(朝倉東) ※敗退
 (女子団体) 1回戦 ×福翔 1-2 近大福岡 ※敗退

卓球部

◆新人卓球大会中部ブロック予選 10月5・18・19日(日・土・日) 博多体育館・城南体育館
 (シングルス) 野角:ベスト32 高村・川口:ベスト16
 ※以上、県大会出場
 (女子団体) 1回戦 ○福翔 3-0 福岡常葉 2回戦 ○福翔 3-2 筑紫女学園
 3回戦 ×福翔 0-3 中村学園 3位決定戦 ×福翔 1-3 光陵 ※中部地区4位で県大会出場

水泳部

◆全国高等学校総合体育大会水泳競技 8月16日(土)～8月20日(水) 埼玉県川口市青木町公園プール
 (予選)
 100m平泳ぎ 廣田 大記 1分06秒03 30位:予選落ち
 200m平泳ぎ 廣田 大記 2分26秒30 45位:予選落ち
 400mメドレーリレー(岩岡・小樹・渡辺・小島)4分38秒67 69位:予選落ち
 ◆未弘杯九州高等学校選手権新人水泳競技大会 10月18日(土)～19日(日) 福岡市総合西市民プール
 (予選)
 男子100m平泳ぎ 廣田 大記 1分05秒37 9位:決勝進出
 200m平泳ぎ 廣田 大記 2分20秒51 4位:決勝進出
 100m自由形 東 健太 58秒06 58位:予選落ち
 50m自由形 中村 大輔 26秒65 56位:予選落ち
 100m自由形 中村 大輔 58秒50 61位:予選落ち
 50mバタフライ 馬渡 雄基 31秒04 84位:予選落ち
 200m個人メドレー 馬渡 雄基 2分29秒93 69位:予選落ち
 200mメドレーリレー(馬渡・廣田・東・中村)1分57秒85 23位:予選落ち
 200mフリーリレー(東・廣田・馬渡・中村)1分46秒28 29位:予選落ち
 女子50m自由形 岩岡 里衣 27秒99 5位:決勝進出
 200m個人メドレー 岩岡 里衣 2分30秒22 8位:決勝進出

50mバタフライ 渡辺 友梨奈 28秒68 1位:決勝進出
 100mバタフライ 渡辺 友梨奈 1分03秒61 2位:決勝進出
 50m自由形 清水 雅美 29秒45 25位:予選落ち
 100m自由形 清水 雅美 1分05秒06 35位:予選落ち
 50m自由形 猪原 理恵 32秒12 93位:予選落ち
 50m平泳ぎ 奥村 美咲子 41秒02 33位:予選落ち
 100m青泳ぎ 野田 優梨 1分11秒30 39位:予選落ち
 200m青泳ぎ 野田 優梨 2分32秒51 25位:予選落ち
 200mメドレーリレー(野田・清水・渡辺・岩岡)2分11秒06 12位:予選落ち
 200mフリーリレー(渡辺・岩岡・野田・清水)1分52秒67 3位:決勝進出
 (決勝)
 男子100m平泳ぎ 廣田 大記 1分02秒91 5位入賞
 200m平泳ぎ 廣田 大記 2分15秒82 4位入賞
 女子50m自由形 岩岡 里衣 27秒48 4位入賞
 200m個人メドレー 岩岡 里衣 2分30秒62 10位入賞
 50mバタフライ 渡辺 友梨奈 28秒54 優勝
 100mバタフライ 渡辺 友梨奈 1分02秒87 3位入賞
 200mフリーリレー(岩岡・渡辺・清水・野田)1分51秒91 2位入賞

剣道部

◆剣道新人大会 11月8日(土)～9日(日) 九電記念体育館
 (男子団体)1回戦 ○福翔 4-0 ×東海大5 2回戦 ×福翔 1-2 ○福岡舞鶴
 (女子団体)○福翔 1-1 ○博多女子 代表戦 ×福翔 0-2 ○筑紫台
 (男子個人)瀬口3回戦 松尾3回戦 北島3回戦 田嶋1回戦
 (女子個人)山内1回戦 押領司3回戦 村上1回戦 二階堂1回戦

野球部

◆九州高校野球福岡南部大会 9月7・14日(日) 久留米市野球場・県営春日球場
 1回戦 ○福翔 10-3 ×八女農業 2回戦 ×福翔 2-5 ○春日

サッカー部

◆第25回福岡県女子サッカー選手権 9月14日(日)～15日(月) 福岡女学院
 1回戦 ○福翔 1-0 福岡女子商業 2回戦 ×福翔 0-6 誠修 ※福岡県3位

バトミントン部

◆福岡県高等学校バトミントン新人大会 11月15日(土) 大牟田市民体育館
 (女子団体)1回戦 ○福翔 3-1 ×田川 2回戦 ×福翔 0-3 ○自由ヶ丘
 ※団体:ベスト8

体操部

◆福岡県高等学校体操競技県新人大会 11月1日(土)～2日(日) アクション福岡
 柳瀬 結香 個人総合10位 松岡 ちひろ 個人総合11位 橋本 貴志 個人総合20位

文化部

書道部

◆第21回高等学校揮毫大会(主催:九州女子大学) 10月5日(日) 九州女子大学
 九州女子大学学長賞 井上 美沙子
 秀逸賞 梅本 コリカ・古賀 絵理子
 ◆第23回県高総文祭書道部門福岡県揮毫大会 11月8日(土) 岡垣サンリーアイ
 全国大会推薦【三重県】 待鳥 麻衣子 (創作部門)
 九州大会推薦【大分県】 渡辺 美優 (創作部門)
 特選 (創作部門) 林田 桃子・三宅 いず実
 (臨書部門) 井上 美沙子・梅本 コリカ・古賀 絵理子

美術部

◆第23回県高総文祭美術・工芸展 11月9日(土) 北九州市立美術館
 全国大会推薦【三重県】 樹田 愛架 (絵画部門)
 九州大会推薦【大分県】 花田 礼 (工芸部門)
 優秀賞 立本 早夏 (デザイン部門)
 特選 松本 彩花 (デザイン部門)・宮川 ちえ (絵画部門)

演劇部

◆第23回県高総文祭演劇部門福岡県大会 11月22日(土)～23日(日) 北九州芸術劇場
 優良賞

コンピュータ部

◆IT簿記選手権大会 7月24日(木) 福岡工業大学附属城東高校
 (団体戦) 優秀賞
 (個人の部) 福山 正義 130位 坂口 文哉 140位 (234人参加)

箏曲部

◆第20回県高総文祭日本音楽部門 11月9日(土) 北九州芸術劇場
 優秀賞 水野 利彦 編曲「未来花」
 立川 千佐子・横関 未帆・塚本 彩未

写真部

◆第23回県高総文祭写真展 10月9日(木)
 特選 東口 怜奈

ありがとう、先生！

恩師

シリーズ



元福岡商業高校教諭
藤井 正訓
(昭和31年5月～平成5年3月在籍)

福商は私の人生そのもの

縁あって昭和31年福商に就職して以来37年間、福商ひとすじの人生には色々なことがありました。私とサッカーについてはもうすでにいろんなところで語られ、西野先生や引頭先生などの逸話も多しな、ひとつの結果を残すことができませんでした。皆さんの協力あってのことと本当に感謝しております。今回はあえてサッカーのことは封印して、それ以外の思い出を述べてみたいと思います。

生徒と応援スタンドづくり

まず堅粕時代では、体育祭の応援スタンドづくりのこと。近所の建設会社の資材倉庫から、応援スタンドをつくるため、丸太を借りて生徒と共にグラウンドまで担いで運び込みました。当時は3ブロックあり、丸太の組み立て、縄の結び方、建

て方を業者に指導してもらい、その数だけ応援スタンドをつくりました。スタンドの上には絵をかいたパネルを取り付けました。生徒の重さでくずれかけたことはありましたが、幸いにも大きな事故にならなかったことは幸運でした。

事故と言えば駅伝をやっていたとき、生徒が自動車と接触事故をおこして大変だったことを覚えています。野多目に移ってからは、応援スタンドも業者に建ててもらおうようになってからは安全な本格的なものとなり、生徒は応援の演技に集中するようになり、派手なくなりました。その一つに、長崎くんちの「龍おどり」をグラウンドでやろうと企画して長崎まで見学に行き、手作り龍をつくって実現させたことにはびっくりしました。また



昭和33年応援風景

野多目での体育祭の後片付けを兼ねて、生徒会中心でファイアーストームを午後7時から行い、青春を謳歌し感傷に浸りました。生徒会顧問をしたとき、当時はやりの学校キャンプを企画し、テントを学校で買ってもらい、その設営に体育科の先生、生徒会、応援団などと一緒に便所などをつくり、テント村を裏玉

満山の柚須村に開村しました。希望者を募り貸し切りバスで2泊3日の三交代で一週間以上も滞在し、クタクタになったことを思い出します。

福商に応援団を作ったことも思い出の一つです。私自身旧制高校の寮歌が好きでよく歌っていましたので、本格的な応援団をつくらうと剣道部の中山君(62回生)を初代団長として創設し、あらゆる運動部の応援に大応援旗と共に演舞と応援歌で、頑張ってくださいました。幸い23年間続きましたが、時代の流れと共に存続がむずかしくなり、休部となりましたが、今でも福商合同同窓会では、校歌や応援歌の指揮をまかされてもらって、よき時代の思い出とさせてもらっているようです。その応援団といえば、杷木町志波の由緒ある普門院というお寺の境内で合宿をしたことが印象深く残っています。和さんが金子誠先生のお友達だったので実現できたと思います。福商でのサッカー人生の他にも多くのことが思い出されます。本当に有難うございました。

藤井先生は、福商サッカー部を全国高校選手権大会(正月大会)5回、インターハイ9回、国体2回と監督として16回全国大会に出場し、福商サッカー部の黄金時代を築かれた。平成16年度の西日本スポーツ賞を受賞。現在、九州サッカー協会会長。

福商応援団OB
寺崎 裕幸(67回生)

全国サッカー界の重鎮であり、九州高校サッカーのレベルを全国区にまで高められたのは、先生のお力があつたからこそです。そして教子として志を受け継ぎ、正月の全国高校サッカー選手権で、2度までも頂点を極めた現東福岡高校サッカー部志波総監督、まさに先生の指導のためであり、福商の誇りです。

その志波君を盟友にもち、互いに共有する時間の中で、指導を受けた私も幸福者です。忘れもしません



拜啓 藤井 正訓様

応援団の団長として新入部員の勧誘の折、若気のいたりでとつた行動が誤解をまねき、停学処分になりそうな時、声をかけて頂きました。「自分がとつた行動に間違いなければ、役務を最後までやり通せ！ 後の事は心配するな」と。結果はともあれ何事も途中で投げ出さず、最後まで成し遂げる。人生訓として学びました。

①おっかない分、やさしさには涙が出るほど感動する。そして何事も②がんの事のように皆を包んで導いてくれる。だからこそ先生の事を「藤井のおやじ」と言わせてもらっている。おやじ、これからは沢山の言葉と愛を下さい。そして何よりも身体を大切に下さい。

PLAY BACK

青春プレイバック

「徹夜で熱中したことが懐かしい思い出」

美術部 松尾 泰宏(58 回生)

vol.13



自由な雰囲気部の活動

入学してすぐ美術部に入部。当時の美術部の顧問は、後に福商の第15代校長になられた長澤重嘉先生でした。先生は「油絵はセザンヌがいいね」と、よくセザンヌを称賛する話をされていました。セザンヌはフランスの画家で、フォービズム、キュビズムの先駆者と言われており、油絵を学ばんとする者にとっては、最適な教材になる絵を描いた画家の一人です。

部室にはビーナス、アグリッパ等の石膏像があり、部室に入ると各々がイーゼルを立て油絵を描いたり、石膏像のデッサンをしたり、かなり自由な雰囲気部の活動でした。油絵の基礎は、やはり木炭デッサンをすることでしょう。線や面の塊、質感までも追求し、木炭で黒くなった手でパンをかじりながら習作に励んだものです。当時の美術部は、油絵と本格的に取り組んで2年目の頃で、油絵の制作に力を入れていました。先輩は後輩の指導にあたり、作品を並べてお互いに批評しあひながらも、いつも和やかな雰囲気です。楽しい部活の美術部でした。

部員とヨーロッパの巨匠を鑑賞

昭和31年5月、久留米に石橋美術館ができて、美術部みんなで見に行き、マネ、モネ、セザンヌやルノアール、コロドー、ピカソ、ゴッホ、ゴーギャン、ルオー等、ヨーロッパ絵画の巨匠達の作品を初めて

直に見ることができ、大きな感激を受けました。当時海外巨匠の油絵などは、絵画全集ぐらいでしか見たことがなく、油絵に対する情熱が一層高まったのを今でも忘れることができない。10月には、1年間に制作した作品の発表会、つまり恒例の文化祭です。教室の机を壁のように重ね、壁紙などを張るなどして作品の展示会場づくり。また、アメリカ文化センターから(当時天神町にあった)衝立を借りてきて、会場をつくったこともありました。著名な画家を招いて、作品の批評や指導してもらったこともあり、福岡県美術展(県展)にも出品しようという気運が湧いてきたのもこのころです。



1956年(昭和31年)第9回文化祭にて

第一回高校美術展に出品

この年は、昭和31年高校美術連盟ができて、第一回高校美術展が岩田屋で開催された。わが校も出品し、委員校にもなり、この頃から対外活動が始まりました。他校と一緒に、なつて高校美術展の準備に参加し、著名な画家を招いての審査会場では、入選、入賞を選んでもらいました。当然、落選もあり、いろんな絵画展の公募の仕組みをのぞいたような気がしたものです。

また、自分たちの作品制作や発表のほか、校内行事の文化祭や体育祭のポスター、文芸部の文芸誌「飛翔」の表紙、校友会誌の文章の合間にいれるカット絵、コンサート部会場に飾るチャイコフスキー肖像画なども手掛けました。何より忘れられないのは、体育祭の時F・C・H・Sに分かれて競った12枚ほどのベニヤ板を、教室に広げての体育祭アーチの制作です。ちなみに私も下描きから仕上げまで、徹夜で先輩たちと制作に熱中したことが懐かしい思い出です。美術は人の生活になくてはならないと感じており、これからも青春の思いを続けて行ければいいなと思っています。



太宰府支部総会開催

10月4日(土)、太宰府の「寿し栄」で、来賓に川瀧事務長と梅津箱崎支部長を迎えて定例総会が開催されました。新副支部長に野田仁久氏(46回生)を選出すると共に、4名の新会員の入会が承認されました。これで会員数41名となりましたが、さらに会員増強に努めていくことが確認されました。支部規約についても箱崎支部等の規約を参考に、慶弔規程も含めて見直すことになりました。来月4月開催予定の「太宰府支部観桜会」は、太宰府天満宮近くの歴史ある「お茶屋」で開催することを確認し、全員が健康で再会出来ることを祈念して終了しました。

事務局 大西 正則(62回生)



福商39回同窓会

平成20年11月13日(木)、福岡市博多区大阪屋で39回生の同窓会を開催しました。出席者も年々少なくなり、14名の参加でしたが、楽しいひとときでした。

田中 範隆



41回生同窓会

福商41回生恒例の同窓会を11月3日(月)正午より、博多区の割烹料理店で開催。われわれ同級生は卒業時200余名であったが、現存者は70数名となった。特に今年は1月に保坂範三君をはじめ8

人の同級生が鬼籍にはいり、誠に残念至極である。

木下幹事の開会あいさつ時、日高前会長の死去にともない、幹事会において花村君に会長を引き継いでもらった経緯報告がなされ、出席者全員の了承を頂く。そして花村会長のあいさつ。その後、会長自らの祝舞「鶴亀」の披露があり祝宴にはいる。

宴会進行のなか、出席者全員の近況報告の中では、鷺見君のすばらしいハーモニカの独奏が披露されたり、学生時代の回想談やシベリア抑留時代の苦難の話など紹介され、予定2時間30分が瞬く間に過ぎ去った。最後は起立のうえ全員で大



声を張り上げ、元気に応援歌と校歌を斉唱し、来年の再会を約束し閉会となった。

今回は参加者が14名と少ない感じでしたが、欠席者の大半が体調不良との返事。同窓会の出席者も年々減少するのも致し方ないが、出席者が少なくても本当に楽しい一時を過ごせて、全員幸せであった。

宗 健次

獅々児会同窓会 (44・45回生)

大宅君からブドウ



10月17日(金)福新楼で恒例の獅々児会を開催しました。遠くは東京から田中、福田、別府から藤野の3君が元氣よく参

加。加齢のせいか昨年の3割減で21名が集い、福商会からは後藤専務理事と川瀬事務長が参加されました。

司会者都地君の挨拶で始まり、この1年間に亡くなった緒方、村上、池田、荒川、北岡の5君に黙祷を捧げました。続いて来賓の後藤専務理事から福商会の近況報告と福商創立110周年記念に『輝ける福商』とした人名録の刊行を予定している。獅々児会からは、現在8人の資料が出ているが、もっと出して欲しい旨の挨拶がありました。

記念撮影の後、蔵本君乾杯の首頭で宴に移り、和やかな一時となりました。本日参加できなかった大宅重雄君から、新鮮なブドウが届けられ、卓上をにぎわすと、早速全員の手が伸びてきて、あつかましく持ち帰る者もいたようだ。最後に安川君の博多手一本で締め、来年も元気な笑顔での再会を誓って閉会としました。

久我 輝和 (44回生)

樟栄会(46、47回生) 卒業60年記念同窓会

平成20年10月25日(土)に福岡市西区の「三四郎」で、卒業60年を記念して樟栄会同窓会を開きました。当日は、遠くは東京から亀岡、名古屋・櫻井、山口・田中君、福商会から後藤専務理事、川瀬事務長、特別参加として堀内信子さん(48回生)の総勢23名の参加でした。

宴会では堀内さんから寿扇の舞を披露していただき、60年の記念に華を添えていただきました。会は60年前の話で盛り上がり大盛会の同窓会でした。

西嶋 功



ますます盛んに 50会(50回生)同窓会

恒例の「50会同窓会」を、10月18日(第3土曜)に福岡市東区、サンヒルズホテルで開催した。今年は世話人が友人に声



い恩師の丸田先生や蔵本先生のご出席をいただき、更に福商会から秋丸副理事長が出席された。

山地 政美

51回生合同同窓会

私達51回生は、紅葉の季節を迎えた11月10日(月)、KKRホテル博多で合同同窓会を行いました。お元氣な蔵本先生を囲み、私達42名(昨年は58名)が参加しました。

池田君の司会で始まり、私(磯山)から福商会、母校福岡高校の現状について説明を行い、前年の同窓会以来亡くなられた12名の方に黙祷を捧げ、宴会に入りました。毎回

をかけ合っ
て出席を呼
びかけたの
で、懐かし
く、久々に
出会えた人
が多かつ
た。参加者
も40名近く
集まり、昔
のワルガキ
や乙女が光
頭・白髪と
なり、学生
時代の思い
出を語り
合った。幸
披露している川嶋君(4組)の博多仁和加も、
今回は世相や同窓会を題材にしたもので大
変興味深いものでした。最後に梅津君の音
頭で校歌や、応援歌を合唱し、皆さんの健康
を祈念して万歳三喝で幕を閉じました。

磯山 嘉郎



**卒業50周年記念
同窓会(56回生)**

昭和33年3月3日(月)。見事に3並ひのこの日、我々56回生は卒業しました。その50周年記念同窓会を、10月10日(金)セントラルホテルフクオ力で開催。群馬県高崎よりただ一人お元気な齊藤先生、福商会から後藤専務理事、川瀧事務長を迎え、生徒といえば遠来の友も多く、出席者116名。久しぶり高校時代に戻り、賑やかに和やかに談笑の花が咲きました。



堅粕の迷彩校舎を巣立って早や半世紀。ひと口に50年というけれど、それぞれに平坦な道ばかりではなかったはず。現に

物故者も年毎に増え(現在48名、連絡がとれない人もかなりの数(56名)にのぼります。56回生はテストケースとして3年間、担任もクラスも一度も変わらず、生徒会や各クラブで活動しない限り他クラスとの交流も少なく、そのためクラスメイト以外の人を知る機会が殆どなかったのは、今でも残念でなりません。考えてみればそんな時代だったのか、男子が多かったせいなのか、当時は同じ組の中でも一部を除いては男女が親しく話すようなことも、それほど目になかったと記憶しています。

ともあれ、今後とも、お互い健康に留意の上、ひとりでも多くの友と再会出来ることを願い、最後に懐かしい校歌と応援歌を口ずさんだ楽しいひと時でした。

畑荷 ヤス子(旧姓平木)

別科5回生同窓会

平成20年11月16、17日の二泊二日の同窓会、一年ぶりの再開でした。一回目は古希のお祝いで集まり「福寿会」と名付けて今回で3回目、12名の参加でした。人生いろいろ、一生懸命頑張ってきた面々です。初日の懇親会では、皆同じ悩み「腰が痛い、足が痛い...」これも、笑いに変え楽しいひと時でした。

翌日は、黄色の鮮やかな長寿の「銀杏大樹」を見学。また肌寒い中、阿蘇の「大観峰」に頂上まで登り、素晴らしい紅葉を目



の当たりにし感激しました。ほかにも盛りだくさんの観光を楽しみました。

幹事の藤淳二さんの行き届いたお世話のおかげで、年に一度の福寿会での交流を楽しみにしております。今後一人でも多くの方が参加していただけるように協力していきたいと思えます。

堀 弘子(別科5回生)

**61回生心のゆとりを作る会
秋の例会「癒しの能古島路」**

61回生オプシヨン会「心のゆとりをつくる会」の秋の例会は、「癒しの能古島路」のテーマで、雲ひとつ無い、天高く秋晴れに恵まれた10月19日(日)に行いました。参加者は11人と大庭先輩(55回生)の参

加があり、「朋あり遠方より来たる、亦案しからずや」「来る人拒まず」の心でもどうぞどぞの12人。

博多湾沿いに福岡タワー、ドーム球場、そして海の中道から志賀島を右に見ながら、一路コスモスの咲き乱れるアイランドパークまで足取り軽くルンルンの



ing。この陽気に春と勘違いし咲いたのか、桜の花3輪にびっくり!桜もウェルカム。1時間のハイキング

グでコスモス園に着く。ブルースカイと紺碧輝く海に浮かぶ志賀島を背景に、可憐でビューティフルなコスモス畑で全員の写真撮影。

花の観賞の後は「はら減ったあ〜」のど乾いたあ〜の欲求を満たす「花より団子」、バーベキューと生ビールで乾杯!「うまかあ〜」の感嘆。帰りは今津湾の景色を右に見ながら渡船場まで、少し疲れを思わせる足取りでのロウキングでした。「澄んで乾いた空気」「どこまでも高い空」「きらきら光輝く紺碧の海」、「可憐でナイーブで美しいコスモス」、「歴史とロマンがたまたよう島」に全員が満喫し最高笑顔の一日でした。

事務局 内藤 博

66回生卒業40周年
記念同窓会

2008年の猛暑は凄まじいものであったが、そんな8月22日（金）、福商66回生〈昭和43年3月卒業〉の卒業40周年記念同窓会をテッラホールで開催した。



2年前の同窓会で『江口哲郎くん心臓手術募金活動』の報告に始まり、同級生の宇土君が母校福翔高校の校長に就任した祝いも兼ねた同窓会でもあった。

白髪が目立ち、話の中心も孫の自慢に興じながら、カラオケ、ひもを引いて賞品をゲットするゲームや空くじ無しの抽選会

と大盛り上がりであった。久々に少年少女に立ち戻ったような時間を共有した。

楽しいひと時の後、来秋の還暦記念同窓会の話題になり、準備委員会での話し合いの座長に前崎君、副座長には高校時代のFCSの3ブロックを代表して、清田、山田君（旧姓荒谷）そして私、松永の3名。これに学年の理事古賀君と代議員の青木、折居君が加わり始動する運びとなった。手始めに各クラスの代表を選考し、今後の日程、会場の選定を進めていくつもりです。「一生に一回きりの還暦同窓会」と銘打って、より多くの仲間に参加してもらい、盛会を目指したい。

20年前の全国合同同窓会の幹事を務めさせて頂き、当時としては、歴代で一番の金と人を集めた66回生です。今回は自分自身の還暦を見つめ、同窓とその喜びを分かち合い、更なる卒業50周年に繋がるものになりたいと思っています。

松永 英助

勘ちゃん会忘年会

引頭勘治先生が退官された年から、始めた勘ちゃん会忘年会。今年で、12年。毎年12月第一土曜日に開催してます。今年も12月6日（土）に開催。クラス担任だった回生17人が集まりました。

相変わらず勘ちゃんも、元気で深夜までわれわれと楽しい時間を過ごしました。来年も、12月の第一土曜に集います。

クラスじゃなかった方でも、先生にゆかりのある方は是非ご参加ください。



森松 茂（69回生）

辰巳会（69回生）
活動報告

新しいスローガンとして「チャレンジ2009・チャレンジ69」を掲げ9月と11月に、会館会議室で運営会議を開きました。各実務委員会と委員長は、次の方々をお願いしました。

熱：企画広報委員会 森松 茂君

意気：体力強化委員会 雨森 恵子さん

力：文化向上委員会 塚原 憲一君

11月22日に、体力強化委員会の主催で、雑餉隈フラワーボウルで第一回辰巳会杯争奪のボウリング大会を開催し、初代優勝者



は石川圭祐君（前理事）でした。浜太郎で表彰式と懇親会を行い、大いに盛り上がりました。今後も各委員会の企画で、楽しい辰巳会をつくりまわす。

事務局 善生 喜利

平成21年度
全国合同同窓大会のお知らせ

日時 平成21年6月21日（日）
会場 ホテルニューオータニ博多
会費 6,000円

みなさんので参加お待ちしております！

お問い合わせは福商会事務局まで
☎092(711)9890

70回生 同窓会

「55歳はまだ若い」

2008年10月12日(日)午後5時、博多駅筑紫口ホテルクリオコートでそれは始まった。残念ながら、先生の参加は時藤先生(3組担当)だけだったが、多くが利用していた食堂の中村幸夫様こと「辰巳屋の親父」をゲストに迎え、総勢84名による、昭和47年(70回生)卒業学年同窓会である。55歳の節目の年。われわれが卒業時は、サラリーマンの定年は55歳であった。昨今の55歳は元気がいい！よく呑みよくしゃべる。人の話も聞かないで…それより元気なのは「辰巳屋の親父」である。若干耳が遠くなったくらいで、かくし芸のフラダンス、アカペラでの千の風になつてと、とても84歳とは思えない元気さであった。



4組の皆さん。前列右端は特別ゲスト辰巳屋のご主人

各クラスのユニークな近況報告のあと、校歌斉唱、次回幹事の挨拶と2年後の再会を約して、同窓会は盛況のうちに終わりました。「辰巳屋の親父」次回も来てくれよう！

そして同窓生の諸君 また会おう！

樋口 岩雄

75回生 同窓会

「50歳になってしもうた」



平成20年10月4日(土)、秋の清々しい風を感じる良き日に「50歳になってしもうた記念75回生学年同窓会」を開催しました。生徒138名と先生5名の、多数の参加を得て素晴らしい時間を過ごすことができました。懐かしいあの顔！この顔！30歳

年前の体育祭や修学旅行のビデオ上映や中尾坂(歌)の弾き語りなどもあり、感動！感動！いつきに30年前にタイムスリップ。この日改めて福商の素晴らしさ、卒業生としての誇り、そして本当に75回生でよかったなあ〜と再認識しました。

またの再会を約束し閉会となりましたが、いつまでも心に残る日となるでしょう。75回生の皆さんまた会いましょう！それまで元気に幸せに過ごしてくださいね。

岡崎 みさ子

84回生学年同窓会

平成21年度 合同同窓会当番幹事

平成21年度「第59回全国合同同窓大会」の当番幹事を務めます。84回生学年同窓会を8月9日(土)に、八仙閣で開催しました。福岡商高卒業以来22年ぶりに初めて開催し、何人集まるか不安を抱きながら準備を進めてきましたが、当日は卒業生全員の協力を頂いたお陰で、84回生105名、担任の先生方7名の出席をいただき、盛大に行うことができ、これまでの時間を埋めるかのように、楽しい時間を過ごすことができました。

当番幹事という大変な任務を担う事になり、これまでの福商の歴史を改めて感じる一方で、同窓生と再会出来た喜びに感謝しながら、21年6月の合同同窓会に

右から4人目、吉村実行委員長



向けて、84回生全員で気持ちを一つにする事が出来ました。

最後に、合同同窓会まで、84回生は「熱・意気・力」で準備を進めていきますので、卒業生の皆さん、84回生の皆さん、

吉村 勝

一部活OB同窓会

福商サッカー部創部60周年記念OB会開催

OB会が結束して古豪復活！

9月20日(土)、福商サッカー部創部60周年記念OB会が「セントラルホテルフクオカ」で福商会山口理事長、宇土福翔高校校長を来賓に迎え、盛大に開かれました。上田徳蔵(52回生)名誉会長を筆頭に、高校サッカーの黄金期をつくった各年代のOB約120名が、全国各地から参加しま

→ 長年ご指導いただいた歴代の監督の藤井正訓先生、上野俊幸先生、竹田孝先生、佐々木恭司先生にもご出席を頂きました。

古賀清美（66回生）会長の開会の挨拶で始まり、「サッカー部OB会は先輩、後輩の『絆』を大切にし、若手OBとの交流を



上田名誉会長の挨拶

深め、OB会が結束して古豪復活！再び福商・福翔サッカーの時代を築いて行くこととOBの皆さんに熱く呼びかけました。

現在、福岡県の高校サッカー界は、私立高校の勢いを止められず苦戦しています。OBの中には、少年サッカーの指導者、中学の教諭も十数人いて、全員が「いい生徒、いい選手を福翔高校に入学させよう」と約

束してくれました。近い将来、伝統あるサッカー部が必ず復活することと思います。

会の終わりに、サッカー部歌・校歌・応援歌を声高らかに歌い、70周年に向けて再会を約束して閉会しました。

福商サッカー部OB会

事務局 山田 忠義（80回生）

福商応援団 洋治朗会開催



平成20年9月14日（日）、天神テラスカイホールに総勢28名が集まりました。応援団4代目高田、阿部両氏の還暦祝いと藤井

先生の喜寿祝いを兼ねて行い、御三方の健康と今後のご活躍を祈願致しました。また、福商会全国合同同窓大会の当番回の83回生、井上、敷根両氏の参加もあり、ほんの

少し平均年齢が若返ったようです。

若手からのスピーチを順番に聞いてみると、時間がたつのも早いもので、あっという間です。初代から23代と続いて来た応援団も廃部となり、今はOBのみのみ会ですが、母校に対する愛着は、永遠のものです。その証拠に応援歌、校歌そして福商・福翔へのエールの迫力は凄まじいものでした。平成20年11月に開催される65回生還暦同窓会への出演も決まり、最高の盛り上がりの中、来年の再会を誓い合って閉会となりました。

福商応援団 洋治朗会

寺崎 裕幸（67回生）

第46回珠心会総会

11月1日（土）、大名の萬天集落で、18名の参加により珠心会総会を開催しました。



当番の83回生が進行し、岡口先輩（62回生）の乾杯で開宴。算盤仲間の思いつき話や、珠心会

の歴史、学校に残る部活動資料等について、美味しい料理に舌鼓しながら、大いに飲み二〇年の年齢差を忘れて、和気あ

いあいの鍋を楽しみました。来年の当番84回生から参加者を増やすため、三月には幹事会を開き、早めの準備をする旨の発言に、皆一安心し、校歌斉唱して、二次会へ向かいました。

珠心会 会長 善生 喜利（69回生）

祝!!福商写真部 初のOB会

10月11日（土）、30数年ぶりに集った写真部のOB会！お決まりの記念写真を撮ろうとしたら、先輩のカメラは充電切れ。ほかにはカメラを持ってきていない。さすが写真部の諸先輩方？なぜか私が偶然カメラを持っており、無事に全員揃ってハイポーズ。

その後、プリントアウトの予定で、大切に取っておいたはずのデータが、なぜか行方不明。ひえ〜！先輩方ごめんなさい。これぞ伝統ある写真部のおち！次回のOB会は全員カメラ持参にしたいと思えます。という事で、今は無き木造の部室の話や思いつき話に花が咲き、お酒も入って咲き乱れ。50歳を過ぎたおじ様、おば様が青春時代にタイムスリップ！17、18歳の男子・女子に戻った楽しい楽しい時間でした。

ステキな諸先輩方にお会い出来て、写真部であった事を幸せに思います。

福商写真部パンジー！

行武 由美（旧姓 橋村）75回生

福商美術部OB会
「翔美会」発足



福商美術部OB会

10月25日(土)、福商美術部OB会を開催しました。部活動の写真など持ち寄りついで、当時を懐かしむ中で、将来のOB会の在り方へと話題が進みました。

その結果、こうした交流を重ねることで、意義深い何かが生まれなにかとの話になり、名称を翔美会として幅広

く参加者を募ることになりました。福商、福商美術部OBの皆さん、是非ご連絡下さい。

加峯 鉄也(56回生)

翔美会の連絡先

- 会長 山村 徳一(54回生)
副会長 坂井 貞雄(55回生)
事務局 加峯 鉄也(56回生)
TEL 松尾 泰宏(58回生)

56回生「奨学育成基金」へ寄付
～卒業50周年記念として～

理事会が開かれた10月24日、56回生の鳥井正義理事と天野勝理事(筑紫支部長)から「卒業して50年がたち、記念として56回生に募金を呼びかけたところ、100万円が集まりました。奨学金に役立てて欲しい」と寄付がありました。56回生皆様の母校愛とご厚情に心から感謝とお礼を申し上げます。

私達56回生一同は、卒業50周年記念事業として、母校への奨学育成基金の募金を行いましたところ、各クラスの幹事の協力と同輩諸氏の絶大なる賛同を得て、福商会に百万円を寄付しました。ご協力をいただいた方は次の通りです。

- | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 青柳 秀昭 | 大場 三郎 | 榎藤 康熙 | 長 和紀 | 半田 紘 | 宮脇 雄二 | 山崎 信義 |
| 秋山 博 | 岡部 利幸 | 財津 充則 | 提 隆夫 | 日野山 信子 | 三好 紀子 | 山田 光康 |
| 秋山富士枝 | 岡本 紀男 | 坂本 紀和 | 鶴田 義明 | 平木 幹雄 | 村山 昭明 | 山本 淳祐 |
| 朝日 桂子 | 萩須 繁隆 | 崎田 和子 | 津和野政枝 | 平田 文枝 | 本川 英子 | 結城 隆 |
| 阿部 悦子 | 奥村 初代 | 佐座 昭治 | 寺田スエ子 | 平野 孝司 | 百々多津雄 | 吉井 将人 |
| 阿部 勝喜 | 落合興一郎 | 佐々木美世子 | 藤 弘 | 平山 猛夫 | 百田トシ子 | 吉木 良一 |
| 天野 辰慶 | 春日 正弘 | 佐藤 和恵 | 戸川 英二 | 廣渡 順子 | 百田加代子 | 吉富 雄三 |
| 天野 勝 | 加峯 鉄也 | 佐藤 壽子 | 土佐 誠一 | 福嶋 順子 | 安田加代子 | 吉村 実弘 |
| 荒巻 弘祐 | 神谷タツ子 | 佐藤 節郎 | 豊嶋 昌代 | 福嶋 順子 | 安武 文明 | 吉本 泰浩 |
| 阿利 清美 | 亀井 桂子 | 澤野 嘉章 | 鳥井 佑子 | 藤浦カネコ | 安永 広樹 | 力丸 泰寿 |
| 飯島 一江 | 川嶋 桂子 | 篠崎 紘之 | 仲 由貴子 | 藤木マサヨ | 安永 儀也 | 渡辺 興輝 |
| 石井 龍男 | 川建みち子 | 芝 隆雄 | 藤田 早苗 | 藤崎 秋芳 | 矢野三千世 | 渡邊 哲彬 |
| 石松 茂子 | 川浪 武子 | 柴田正二郎 | 中野 泰秀 | 藤田 早苗 | 矢部 進 | 50音順 |
| 石村 泰久 | 菊池登喜男 | 島中 和子 | 中野 修 | 藤野 達也 | 山口 孝雄 | |
| 井芹 延子 | 北村 友幹 | 下田 豊一 | 永森 洋子 | 藤村 国俊 | | |
| 市村 義光 | 木道 武人 | 白川 麗子 | 成吉 幸一 | 藤山 登子 | | |
| 一柳 英子 | 木村 良憲 | 末永福久代 | 西川つや子 | 二村小夜子 | | |
| 稲井富美子 | 久保 初雄 | 助田 勇夫 | 西島加鶴代 | 船越 光敏 | | |
| 井上 淳策 | 久保 洋子 | 陶山 勇 | 西島 軍治 | 古野ヨネ子 | | |
| 井下 尚志 | 倉地 英一 | 田浦 光徳 | 西田 慶子 | 古宮 信弘 | | |
| 今井 英喜 | 倉富 淨子 | 高木香津子 | 西村 民子 | 堀上 良一 | | |
| 入江 清仁 | 栗屋 宗典 | 高橋 愛子 | 西村 正義 | 松岡 賢二 | | |
| 印藤 昌修 | 古泉 康夫 | 高橋 淳子 | 丹羽 昌子 | 松本 敦子 | | |
| 上田 愛子 | 香田 忠志 | 高橋 忠義 | 野村 道子 | 松本 忠敬 | | |
| 上野 誠 | 古賀シゲ子 | 竹本 逸夫 | 橋本 修一 | 松本 良平 | | |
| 梅田 博子 | 古賀 義孝 | 田坂 淑子 | 橋本 修一 | 真鍋 征矢雄 | | |
| 瓜生 頌幸 | 児嶋 信明 | 田中 勲 | 長谷川幸子 | 水三浦 功人 | | |
| 江上 守 | 小谷 武司 | 田中 勇 | 畑井ヤス子 | 水上 省二 | | |
| 江口 巧 | 後藤千恵子 | 田中 國昭 | 浜田 泰祐 | 溝口 佳美 | | |
| 江口 稜子 | 小西 且豊 | 田中三枝子 | 原 正人 | 宮崎 陽一 | | |
| 大石 章子 | 小西日出子 | 谷口 敏雄 | 原 政幸 | 宮脇 育子 | | |
| 大川 斐丸 | 小林 和子 | 玉井 匡代 | 原 政幸 | | | |
| 大隈 英夫 | 小林 久士 | | | | | |



以上の方々に協力頂きました。誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。鳥井 正義

激動の昭和を駆け抜けて

大西 壽 (53回生)



53 回生 (昭和11年生まれ) が入学した昭和27年は、直前に朝鮮戦争が勃発したため、米軍ジェット機が堅粕の校舎をかすめて飛来し、その轟音でしばしば珠算の授業が中断された。卒業した30年は、経済白書に「もはや戦後ではない」と書かれたが、庶民の生活に戦後は色濃く残っていた。あれから53年がたち、72歳となったが、同じ年の家内の目には、亭主が波瀾万丈の人生を送ってきたと映っているようなので、それでもない過ぎ去った過去を振り返ってみた。

長期移動、奉天 (現・瀋陽) の不気味な毒ガス工場の収容所生活、引き揚げ船の食事は高粱 (コウリヤン) 飯だけなど、一生忘れられない体験をした。

【級友に恵まれた福商の3年間】

敗 戦を満州 (現・中国東北部) の吉林省で迎えた。翌21年秋に父親の郷里・愛媛県に小学四年生で引き揚げたが、満州での二年生からの3年間は学校に行けなかった。この間、日本人租界地の古本屋に店番として雇われ、当時は全ての漢字に振り仮名が振られていた本を手当たり次第読むことができた。おかげで、学校では教わらない雑学を短期間で吸収でき、小学課程はほぼ取得できたと思う。このことは後になって度々身を助けてくれる貴重な財産となった。引き揚げには、1カ月かかったが、無蓋車での

そ の後、22年夏に引き揚げ船の上陸地である博多に移住。住吉小学校、高宮中学と転校のない学校生活が送れ、長い放浪は終わった。当時、成績優秀な中学と評判が高かった高専では、中卒で就職可能な保安隊 (自衛隊の前身) に入隊しようとしたが、担任に強くいさめられ、就職に有利と判断した商業学校を狙った。幸い福商には上位の席次で入学したようだが、やがてそれも、部活 (陸上部) やアルバイトに専念したため、席次は見る間に下がり、多分二年の終わりにころには、落ちるところまで落ちたと思う。しかし、三年の就職推薦が決まるテストのときは、級友の義侠心につながって、教科書を借りまくり必死になって勉強したせいか、奇跡的に入学時の席次まで回復したようだった。この結果、黒崎市で全九州の商業、工業高生を集めて行われた小野田セメントと、三菱銀行福岡支店の採用試験を受けることができ、いずれも内

定を受けた。自分では小野田セメントに大きく傾いていた。

ところが、この時点で珍しく日本銀行から就職案内がきたと受験を勧められた。到底無理と判断して辞退したが、担任の越智先生から懇々と諭され受験した。結果は思いもかけず採用となった。このときの両親の喜びは、今もって忘れられない。

【日本銀行での生活】

日 銀福岡支店には、12年間在籍し、42年夏に本店の営業局に転動した。

営業局では、後に福岡銀行頭取になられた寺本さんやお嬢さんのめぐみさんを北朝鮮に拉致された横田さんとも机を並べ、切磋琢磨した。その後、鹿児島支店に次長として2年間単身赴任したほかは、平成3年に後退退職するまで通算24年の間、経理局、業務管理局、二度の考査局勤務と中枢部署をわたり歩き、日本経済が国際化に突き進む時代を日銀行員として間近に接することができた。また、人柄・力量ともに秀でた数多くの俊英と接することもできた。こうした恵まれた職場で過ごす機会ときっかけを作ってくれた福商の先生方と三年八組の級友にはお礼の言葉もない。日銀退職後も短資会社、整理回収銀行、整理回収機構等に勤務した。これらのすべての職を辞した現在、何度か時代の風に吹き飛ばされそうになった亭主を50年間、常に明るく支えてくれた家内に深く感謝している。

※福商時代は、昭和29年度生徒会長。

近況報告

私の仕事

こんにちは！ 福翔の部活動では、英会話部やギター部に入っていました。私は今、アルバイトをしながら、「アクションチーム J-ONE」というジャッキー・チェン好きが多く集まった劇団の研修生として稽古に励んでいます。また、プロバスケット「ライジング福岡」のチアリーダーもしています。両方とも、常に目標を持って、自己責任で動かなければならないので、学生時代では想像出来なかったこともあったりして、何かと大変ですが充実した日々を送っています。

さてJ-ONEでは、平成21年5月30日(土)〜31日(日)「SPY (仮称)」を博多駅近くの大博多ホールで上演します。名物のアクションシーンあり、笑いありで、近くで見れば見るほど、迫力満点の楽しい舞台です。スカッとした方、お友達とお誘いあわせの上、ぜひお越し下さい。勿論私も出演します。

前売り券は2500円です。

島田 恵 (105回生)



チアリーダーとしても活動中

お問い合わせ [J-ONE事務局] TEL092-864-8291 [ホームページ] <http://www.action-team-j-one.com/> または mixi のピリピナまで

どうしゅうおうらい 同舟往来

河井 雄輔君(52回生) (旧姓 井上)



卒業以来久しく顔を合わせる機会に恵まれず何十年ぶりに会ってみて、学生時代の風貌と全く異なる姿に驚いた。卒業前の彼は、

大学進学に向けて勉学に励む傍ら、奮力ならな面も垣間みえた。登校時の遅刻はしばしば。正面玄関から教室まで至近距離だったので、大きな体の下駄履きで廊下を歩いて入室する荒々しさ。「担任、川上先生泣かせの生徒であった」と回想している。

しかしながら級友たちの誰彼からも親しみを持たれ、好きな科目は商業文と算盤の授業。「将来、文部大臣になれたならば算盤は日本の文化、知能鍛錬の中心に据えて幼稚園から必須科目とし、諸外国に広めてやる」と豪語したこともあった。少年期、家が土手町(今の大名一丁目)で旅館業、近くに西部軍司令部(現、福岡地方裁判所)があり、軍人さんの客が殆んど。ある日、密かに軍刀を持ち、積み上げた布団を切る。この時、軍刀は切るのではなく刺すものだ、と覚える。

戦後、大名小には水泳プールがあったが、水泳パンツなど入手困難な時代、庭に稲荷大明神が祀ってあった。その旗を外してフンドシにして泳いだら、祖母から「このバチ当たりがチンチン腫れるぞ」と叱られたこともあった。天を仰ぎて語る。

このような彼も、兵庫県立神戸商科大学を卒業後、製鉄機械商社に長年勤め、それまでの人脈と商品知識を生かして独立、大阪府下で商社を営んでいる。「目下の課題は人材確保と後継者難、母校OBで社長をやる気のある方を探している」と。古里忘れ難く帰郷のたび、数多くの友に語る頼もしい男だ。

宮田 信(52回生)

青木 進君(66回生)



66回生代議員の青木君を紹介します。福岡時代は2、3年と同じクラスでした。部活はバ

スケットボール部で3年の時は主将をしていました。成績は今のバスケ部とは違い、弱小でしたがチームワークのよいクラブでした。

昭和43年に三井銀行(現三井住友銀行)に入社し、東京21年、大阪7年、福岡4年の32年間を勤務しました。仕事は預金・融資・渉外・外国業務と幅広い分野で活躍し、外国為替事務のスペシャリストとして名をはせたと聞いています。運動の方は銀行入社後バスケ部所属し、関東と現役で活躍した後、昭和62年から同行を退職する平成12年まで監督・総監督を歴任しました。全日本実業団選手権大会には、男女チームとも数多く出場し、バスケ部ボール部の基礎を作り、いまでも毎年2月に開催される同大会に顧問として

応援に出かけているそうです。

現勤務先は銀行の親密会社ホウライ(株)福岡支店で、生損保代理店として副支店長兼北九州営業所長を務めている。バスケ部トボールに関しては、平成14年に福岡市バスケ部トボール協会の常任理事に就任。平成19年からは福岡市体育協会の評議員・強化委員になり、また福岡バスケ部トボール部OB会の副会長も務め、過去の経験と業界の発展に生かし、世話役としての重責を担っている。

古賀 清美(66回生)

中村 佳津子さん(66回生) (旧姓 徳永)



50歳も半ば過ぎ、このまま運動不足を続けていくと「生活習慣病間違った」と思っ

ていた矢先にお会いしたのが、中村佳津子先輩(66回生)でした。

中村さんご自身も、出産後57kgの体重が80kgになり、職場復帰された頃は55kg。その後、ストレスで67kgと増え、疲れた身体を何とかしたいと思っていた時に、自力整体整食法を教えている矢上先生との出会いがあったそうです。現在中村先輩は、独身時代の53kgをキープされています。先輩曰く「疲れた身体が元気になっただけでなく、オマケにダイエットがついて来た」と言われます。

2005年12月、自力整体ナビゲーターの資格を取られ、NHK文化センター、岩田屋コミュニケーションカレッジ、大野城市まどかびあなどで講師をされています。さくら会(7月)の勉強会でも講師としてお迎えしました。とても優しく、きめ細かな指導が評判でした。中村先輩の、今後の活躍をお祈りしています。

藤野 明美(67回生)

内野 恵美子さん(64回生) (旧姓 結城)



同窓生より吉報の電話が入る、ご主人が長年の消防団の活動によって、藍綬褒章を受

章されたとのこと。電話口での彼女のうれしそうな顔が、私にも伝わって感じとこれとてもうれしかったです。

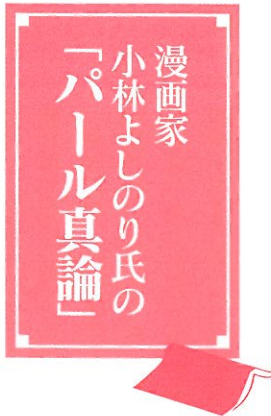
恵美子さんは平成20年3月に那珂川町役場を退職されました。二男一女、孫三人。持ち前の「優しさ」と笑顔をモットーに、周りのご家族に支えられ「ワーク・ライフ・バランス」を上手にコントロールし、朝暗いうちから早起きしてきた努力家です。頑張り屋の彼女は、私の尊敬する友の一人です。60歳を過ぎた私達、母校の福商会さくら会で、またお会いできる機会に恵まれました。

これからは学生時代のように一緒に「福商会さくら会」で楽しみましょ。

平田 哲子(64回生)

福商同窓生の皆さん！ 福商高卒70回生（昭和47年卒）小林よしのり氏の新著「パール真論」をご存じでしょうか。私は、これを読み終えて、その情熱、その意気、その行動力、その国を想う心に感心した。その内容の重さと実証性に圧倒され、彼の闘志に脱帽した。

先の大東亜戦争（別名…太平洋戦争）に敗れたわが国に対して、アメリカを中心とした戦勝連合国側により開設された



東京裁判で唯一「日本無罪」を主張した判事による「真理の裁き」



「ゴーマニズム宣言SPECIALパール真論」
小林 よしのり (著) 小学館 価格：¥1,680

書評

大塚 重敏 (52 回生)

〈元 JA 全農福岡支所長〉

くの人材がいる。同窓生として嬉しいことである。福商会報の特別編集「福商一〇〇年史」や「同舟往来」にその多彩な卒業生を知ることが出来る。成功した実業家、経済学者、書家、画家、教師などなど、挙げるに暇が無いくらいである。そういう同窓生の中で小林よしのり氏は異色の人材といえよう。彼は単なる漫画家ではない。憂国の士であり、思想家である。行動力抜群の人である。小林よしのり氏の著書を読むと、彼の人となりが理解できる。私は、「戦争論」などいくつかの著書を読んだに過ぎないが、とにかく異才である。

私が、彼を同窓生だと知ったのは新しい。そして「パール真論」に格別の興味を持った訳は、福商高を卒業して間もない頃、古書店で見つけた一冊の本、昭和27年11月10日、日本書房発行の「日本無罪論」であった。東京国際軍事法廷、十一人の連合国側の判事の一人であったパール氏が、わが国の戦争責任を法と正義から有罪とすることは出来ないとして、反対の見解を纏めて裁判所に提出したものである。それは、私をして目覚めさせた歴史的な一冊の本であった。

新著は小学館発行。三六四ページの漫画本、得意の描写であり理解し易い。

また小林氏は、産経新聞社の月刊誌「正論」の十月、十一月、十二月号で、日本を代表する論客の一人である西部邁氏らと論争をしている。

第6回 「福商縦の糸の会」 開催のご案内

日時

平成21年2月6日(金)

第一部

講演会

午後6時～7時

(受付午後5時から)

●演題

「夢のつぎ」

講師

東福岡高校サッカー部総監督 志波 芳則氏(67回生)

第二部

懇親会

午後7時～9時

会場

八仙閣 5階

福岡市博多区

博多駅東2丁目7-7

☎092(411)4141

会費

6,000円(83回生まで)

4,000円(84回生以降)

お問い合わせは、

福商会事務局まで

☎092(711)98990

随所に好プレー！
年齢を超えた交流も

第39回福商会ゴルフ大会



全員で校歌斉唱

好天に恵まれた9月25日、福岡カンツリー倶楽部（東区和白）で「第39回福商会ゴルフ大会」が開かれました。この日は49回生から84回生までの80名が参加し、同窓同士の交流を深めるなかにも、真剣なプレーが随所に見られ、熱戦が繰り広げられました。

競技は松（55回生まで）、竹（56回生～59回生）、梅（60回生以降）に分かれて行われ、松組は鈴木秀夫さん（50回生）、

竹組は久保初雄さん（56回生）、梅組は阿部隆雄さん（69回生）が見事に優勝されました。表彰式の最後では、応援団OBの古賀政之さん（78回生）の福商・福翔エールや、全員で校歌をうたい、「来年も元気で会いましょう」と約しながら大会を終えました。

各組の結果は左記の通りです。

松組



- 優勝 鈴木 秀夫 (50回生)
準優勝 難波 正徳 (53回生)
3位 森山 昌直 (51回生)
4位 安武 真明 (54回生)
5位 河村 準二 (54回生)
6位 草場 健二 (52回生)
7位 鹿兒島史浪 (53回生)
8位 小西 醇一 (50回生)
9位 空閑 謙二 (50回生)
10位 藤田 靖男 (55回生)

竹組



- 優勝 久保 初雄 (56回生)
準優勝 天野 辰慶 (56回生)
3位 阿部 勝喜 (56回生)
4位 内田 建一 (59回生)
5位 白木 正助 (59回生)
6位 佐々木 均 (58回生)
7位 松隈 治長 (59回生)
8位 鳥井 正義 (56回生)
9位 真鍋 仁輔 (58回生)
10位 今井 英喜 (56回生)

梅組



- 優勝 阿部 隆雄 (69回生)
準優勝 松田 五郎 (63回生)
3位 清川 直樹 (84回生)
4位 藤田 正勝 (62回生)
5位 湯下 稔明 (60回生)
6位 無津 呂繁憲 (78回生)
7位 山崎 国幸 (64回生)
8位 平昭 大成 (76回生)
9位 山崎 政司 (63回生)
10位 吉村 俊之 (75回生)

福翔高校吹奏楽部
定期演奏会に参加して



8月10日、福岡市南市民センターで福翔高校吹奏楽部定期演奏会が開かれました。

定期演奏会は、3年生の引退のステージで部内の行事の中でも特に重要視される演奏会です。去年は現役としてステージに立ちましたが、今年はOBとしてチューバを担当しました。

私はクラシックとポップスに出演しましたが、曲数が10曲ちかくあり、思うように練習時間がとれず、現役のころのようには吹けず、あせりや自分に対しての苛立ちを感じることもありました。しかし、現役の時はいくつかのOBの方々に手助けしていただき、何より「OBとして現役の力になりたい」という

強い思いがありました。そのため個人練習の時間をできるだけ多くとり、合同練習にも必ず参加するよう心がけました。当日はお客様も多い中、目立った失敗もなく心に残る演奏会になったのではないかと思います。

これからもOBとして現役のサポートをすると同時に、OB単独としても演奏できる場を増やし、多くの人に福商OB吹奏楽団の音楽を聞いていただき、楽しんでもらえるように積極的にがんばりたいと思います。

梶原 裕貴（106回生）

珠算部の歴史が
福翔高校に現存

11月8日（土）に、学校訪問し、旧視聴覚室の倉庫に保管されている、珠算部の過去（昭和40年代）の大会優勝トロフィーや団体競技の賞状、各級別練習帳、また部活、試合、遠足等の写真・アルバムと、貴重な資料を確認しました。母校、110周年記念事業の資料になればと願っています。

珠心会 畑山 正寿（64回生）



輝かしい数々のトロフィー、賞状

談笑室

おもしろ話をお届けするコーナー、談笑室！
同窓が聞いた、実際に起きた出来事をご紹介します。

パスポート

米国でのツインタワー爆破事件一カ月後に旅行した。緊張しているツアー客の気持ちをはげそつと、添乗員が次のような話をした。

年配の男性が旅行の申し込みにきた。一応の説明を終わったあと、念のためにパスポートの有効期限を聞いた。男性は「そんなものが要るのですか。それはどこで売っているのですか」

「これはやばい」と思ったが、パスポート取得の要領を教えた。

この男性が参加した旅行は、帰国するまで順調に進んだ。日本での入国手続き中、窓口の係員の顔がこわばった。添乗員が呼ばれて見せられたパスポートに仰天した。なんとパスポートの余白には、男性が旅行中のできごと、感じたことがびっしり記入されていた。最初に「やばい」と感じたことが適中した。「今後は旅行説明会の時、このようなことが二度と起きないように注意します」と平謝りして許してもらった。

球子さんと玉男君

色白でほちゃっとした丸顔の球子さんは、いつもミットで優しく受け止めてくれる玉男君に、好意を持っていた。玉男君も球子さんを憎からず思っていた。

ある野球の試合で、球子さんは打者がファールチップをしたのを「これ幸い」とばかりに、玉男君に体をぶつけた。玉男君は「ウツ」と息を詰まらせたものの、可愛い球子さんのこと。黙って投手に返した。

同じことが再び起きた。玉男君は「痛いよう」と言いながら顔をしかめた。二度あることは三度。さすがの玉男君も三度も同じところを狙ってくるお前は嫌いだ」と叫んだ。その後、球子さんは玉男君のところに行かなかった。

◇ ◇ ◇

野球評論家の小西得郎氏は、この試合の解説をしていた。最初は「急所に当たりましたネ」。二度目は「一番柔らかなところ」。最後は「この痛さは女性には分からないでしょう」と言った。同じことでも、毎回表現を変える小西氏の座談の巧みさに感心させられた。私も後に原稿を書くときの参考にした。

ビデオ騒動

「旅の恥はかき捨て」というが、日本を離れると、つい思わぬ行動に出ることがある。

中欧旅行中、ツアー客全員がバスに乗り込み、出発を待っていた。添乗員がなかなか出てこない。やがて「〇〇さんビデオを觀賞しましょう。料金を払って下さい、ビデオが言っています」〇〇

さんは前夜、奥さんが寝静まったあと、友人とアダルトビデオを見たのだった。奥さんの手前もあって「見ていない」と否認した。「フロントに記録されています」には「ビデオが故障していたのだ」と言っていたが、最後にはしぶしぶ認めた。

奥さんには叱られるし、他の客の目もあって小さくなっていった。

出発後に添乗員は「ヨーロッパのは無修正ですからネ」とつぶやいていた。ということは添乗員もこの種のビデオを見たことがあるのだろうか。

おなら

小生が壇信徒になっているお寺では、数年に一度「五重相伝」の行事が行われる。五日間、朝八時半に集合。午後五時過ぎまで、お念仏や戒教師の話を聞く。至極真面目な席なのである。

何日目だったか、説教の最中に「おなら」が出そうになった。医学的には思い切り放出した方がよいと言われているが、座が座だけに「音」をたてる訳にはいかない。かといってスカス、いわゆる「すかしっぺ」は臭いがきつい。困っていたら、話が一段落。やれやれと思っていると、それからお念仏。こういう時の念仏は通常の倍くらい長く感じる。終わると一目散にトイレに直行した。

(M・N生)

南北アメリカ大陸縦断記⑥

吉積 隆二 (50 回生)



【母校山岳部OB遠征隊メンバー】

アドバイザー：吉積 隆二 (50回生) 隊長：尾石 光治 (54回生) 隊員：平野 孝司 (56回生)
 隊員：江上 守 (56回生) 隊員：椎藤 康熙 (56回生) 隊員：林 洋一郎 (58回生)

11月8日、ペルー・トゥーンベスで通関手続きをして入国した。ピウラーチクラヨーチャンチャンの遺跡地帯を通り、一木一草も無いセチュエラ大砂漠を抜け、トルヒーヨに着いた。ホテルに泊まると、ベッドの下に茶碗が並べて置いてある。不思議に思い、ベッドに横たわり天井を見上げると、ちらちらと夜空が見える。屋根が葺かれているので覆われている。沿岸を流れるフンボルト寒流の影響で、毎日霧に覆われる季節と、乾燥した季節が交互にあるだけ。寝ていると首筋が生温かい、手で触ると虫。「ダニかな?」南京虫らしい。天井から落ちてきたのだろうか。ようやくベッドの足の茶碗の意味が分かった。

トルヒーヨは、西経75度から80度、南緯7度。東にアンデスの大山脈。西百キロ先にはオクシデンタル山脈が連なり、世界の大河「アマゾン源流」の最西端である。ペルー一番の高山、ワスカラン山(6768m)を眺めながら、大砂漠の中を一路南へと進み、日系人6万人の80%が住む、ペルーの首都リマに着いた。大使館訪問のあと、県人会による歓迎会が催され、大歓迎を受けた。

11月19日にリマを出発してインカ帝国の都クスコへ向かう。リマ市を出ると、もう一面の白い砂漠。一車線の黒いアスファルトの完全舗装のパンアメリカンハイウェイ。白と黒のコントラスト、チンチャアルタからイカ、左にナスカとフアナ平原の地上絵を眺めながらナスカに。翌日はアンデス越え。ペルーのなかでも、難所と言われる山越えルートを走る。しばらく進むと広い谷に入った。広い川原は、岩石が続いている。この谷に沿ってジグザグに進む。これがインカ道かもしれない。夕方、峠に出た。標高4800m、一面に高山植物が生い茂っている。陽が沈むとともに、急に冷え込んできた。車のヒーターを入れ、キルティングを着る。

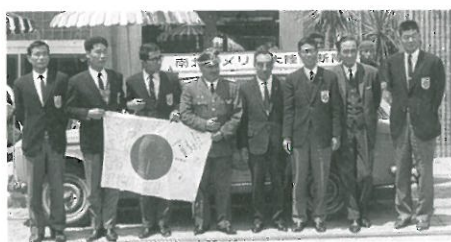
11月22日、アンデスの山々に囲まれたクスコ(海拔3400mの盆地)に着く。クスコとは、へそ、中央の意味。南北に4千キロのインカ帝国の古都(首都)である。5000年前、スペインに滅ぼされ1000年で滅亡。ヨーロッパ風のものばかりで、インカ帝国の名残は土台の石積みばかり。インカの文明は石への信仰、神が宿る聖なる石。ここはサクサイウワ

マンの遺跡。城壁は、一個が数千トンもある石を隙間なく積み上げたもので、その長さは300m以上に及んでいる。15世紀初めに80年間、一日に3万人とも言われる労役によって築かれたという。クスコ近辺には礎石ばかりで、建造物を見ることができなかった。



空中都市マチュピチュ

次にスペインの侵攻に見送られず、破壊から逃れたマチュピチュへと向かう。クスコの北北西に位置しているサンタナ駅より、列車で3時間半、いくつかのトンネルを過ぎ、海拔1400mのプエンテ・ルイス駅に着いた。そこからバスに乗り換え、断崖に作られた細い道を進むと、雄大な空中都市マチュピチュが現れてくる。ウルバンバ河に沿って階段状にアンデネス(段々畑)が広がる。日本という棚田である。標高差200m、温度差5度、この温度差などでいくつもの作物を栽培している。なかなかの知恵である。「わが太陽、わが父よ、母なる大地と自然」を崇拜した文明である。王族の邸宅跡や聖職者の住居跡、整備された水路、トレオン(太陽の神殿)など。また小さな窓に差し込む日の出の光の位置によって冬至を知り、農作物の種まきの時期を知るなどの建造物を整えたマチュピチュ。



中央はポリビア陸軍大臣に就任する吉田氏

11月26日、クスコを出発しティティカカ湖畔の町プーノ到着。11月28日、約6千人の日系人がいるポリビアに入国。葦で作った舟、湖には浮き草の葦の上に住居を建てて生活しているインディオ。2時間ほど草原を走り、海拔4071mのポリビアの首都ラパスに着く。ラパスは平和という意味。ラパスの平和は、なんと百年間に180回のクーデター。平和どころか革命が日常茶飯事。そこで近々陸軍大臣に就任される日系人の吉田さんにお会いした。また宇宙からの電波を観測している基地、チャカルタイヤ(海拔5200m)にブルーバードで登り、ブルーバードでの最高地登坂記録を達成した。12月2日、ポリビアからアンデス山脈を越え、再びペルー第2の都市アレキバを通り、国境の町タクナからペルーを出国し、チリに入国。12月6日アメリカに到着。

(次号へ続く)

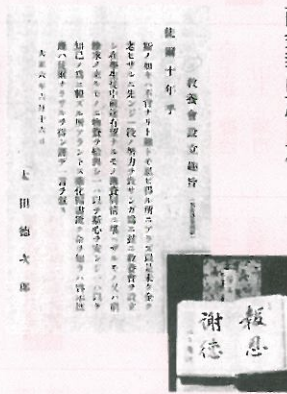
福商100年史 11 松原校舎から堅粕校舎時代へ

奨学金制度、福商会報の創刊

現在の福商会奨学金制度は昭和41年から開始されたが、母校に独自の奨学金制度が導入されたのは1917（大正6）年のことであった。当時の校長であった太田徳次郎は校長在職10年を記念して、同年5月に奨学金制度の設立を発案した。6月1日、本校内に奨学資金「教養会」を設立し、寄贈金の受け付けを開始、11月に教養会の発会式を行った。基金は卒業生、教師、父兄、それに校長に賛同した4年生らが、市内の有力者へ奉加帳を持って回り、10月末までに6720円を集め、寄贈者は85人を数えた。

同窓会の機関紙として「福商会報」が創刊されたのは1920（大正9）年12月1日。同年4月に開催した創立20周年記念同窓会で、会報発行の会則などを決定した。1904（明治37）年9月、同窓会が発足して以来、それまでは同窓生の消息などは学友会会報（誌）の同窓欄で紹介されていたのが、「福商会報」として独立したのである。内容は同窓大会報告や全国各地にある同窓会支部の活動状況、会員の近況、エピソード、紀行文や俳句、短歌、新規会員名簿、会員異動、訃報、毎年の会費決算報告などでB5判の16ページで有償とした。

当初は月刊を予定していたが隔月発行になり、その後も費用や会員からの原稿が集まらないなどで3〜4カ月おきに、昭和初期には半年から1年おきの発行になった。そして戦争で中断。戦後は1949（昭和24）年に創立50周年特集号を出し、1953年に福商通信と改題して復刊した。その後、福商と改め、また福商会報に戻った。



教養会設立趣旨書と芳名帖

戦前から戦後の一時期は、学校長が同窓会会長を兼ねていたこともあって、学校で編集されていたが、1952（昭和27）年に同窓会館である「福商会館」が建設され、社団法人福商会として発足してからは事務局で編集し、近年では年3回発行している。

新校舎の完成

1930（昭和5）年3月31日、福岡市堅粕町字御馬所230番地に新校舎が完成した。校舎の敷地総面積は15,426坪で、本館＝鉄筋コンクリート二階

建て、一部三階建てという広大なものであった。

本館はコの字型になっており、20教室のほか、講堂、特別教室（実践室、簿記室、タイプライター室、商品教室、物理室、習字図書教室、化学教室、地歴教室、博物教室など19室）、校長室、職員室、治療室、会議室などが配置されていた。本館のほかに付属建物として雨天体操場、柔道場、剣道場、銃器室なども完備していた。工事は昭和4年5月に着手、総工費は30余万円を投じた。

クリーム色塗られた校舎はホテルのような建築様式で、博多駅方面から見ると、一面の田んぼの中央にそびえる堂々たる建物であった。新学期の4月8日から新校舎への移転を開始した。当時はまだトラックの数が少なく、引っ越し作業は馬車を主力としたが、多くの荷物は生徒たちが担いで運んだ。このため千代町の旧校舎から堅粕の新校舎まで約2キロの道程に、延々と約千人の生徒たちの行列が続いた。新校舎の黒板や机はみなピカピカの新品だった。

さらに同年10月には校庭に御大典水泳プールも完成した。同プールは長さ25メートル、幅13メートルで、父兄後援会員の寄贈によるものであった。11月には3百メートルのトラック運動場やテニスコート、

野球場、バレーコート、弓道場、相撲土俵、射撃場も備えた総合グラウンド場が完成した。この年は創立30周年でもあり、3月2日の第27回卒業式で卒業総数が2,274人（甲種2,150人、乙種1,24人）に達した年でもあった。



堅粕校舎（昭和5年）

移転したこの年に、中根式速記の創始者中根正世氏の本校での講演がきっかけとなり、学友会に速記部を創設した。当時、福岡市にはプロの速記者は県庁と新聞社に数人いるくらいで、九州の中等学校の速記部のはしりであった。昭和7年に行われたプロの速記者も参加できる「第一回全国一般中根式速記選手権大会」では、石村善左が見事優勝している。その後、昭和10年石村善兵衛、11年、田代俊夫など昭和17年までに11回行われた戦前の全国大会のうち4回優勝し、輝かしい成績を残している。

会費納入者

(平成20年8月から11月末までご入金の方)

長期納入者

51年度まで

50年度まで

43年度まで

41年度まで

38年度まで

35年度まで

33年度まで

32年度まで

31年度まで

30年度まで

- ④三浦 藤子
- ⑤池田新太郎
- ⑥永田 順子
- ⑦宮石 健司
- ⑧三原 一枝
- ⑨川西加代子
- ⑩山下 博司

29年度まで

- ⑪真子 雄一
- ⑫龜岡元二郎
- ⑬小柳 陽一
- ⑭津上 明一
- ⑮仲山 博文
- ⑯森上 博次
- ⑰吉田 康一
- ⑱南原 茂

28年度まで

- ⑲真崎 昭治
- ⑳須原 尚寅
- ㉑阿部 悦子
- ㉒藤井 宏一
- ㉓八尋 茂忍
- ㉔高木 宗茂

27年度まで

- ㉕印 正司
- ㉖巳城 輝雄
- ㉗榊 安正
- ㉘富永 照久
- ㉙中島 清
- ㉚船越 忠彦
- ㉛山下 勸三

26年度まで

- ㉜天野 辰慶
- ㉝伝 美代子
- ㉞高橋 哲二
- ㉟大島 健二
- ㊱立山 初代
- ㊲木庭しげ美

25年度まで

- ㊳篠原康次郎
- ㊴大神 芳實
- ㊵山本 俊生
- ㊶水町 正則
- ㊷川島 健朔
- ㊸山本 峻三
- ㊹高村 節子
- ㊺安川 正之
- ㊻安河内 誠
- ㊼山崎 輝喜
- ㊽桑地 英幸
- ㊾柴田美恵子
- ㊿岩田 良三
- ㊽居石 和之

24年度まで

- ㊿榎合 照彦
- ①下門 栄子
- ②納富満智子
- ③森 敏子
- ④井上 孝史
- ⑤板合 茂子
- ⑥河本 豊吉
- ⑦田中 規子
- ⑧青木 進
- ⑨奥山 俊英
- ⑩野田富士子
- ⑪堀 勝彦
- ⑫島田 恵
- ⑬上野 咲紀
- ⑭白垣 清志
- ⑮明石 徳雄
- ⑯古浦 義臣
- ⑰西嶋 軍治
- ⑱津上 明一
- ⑲仲山 博文
- ⑳森上 博次
- ㉑吉田 康一
- ㉒南原 茂
- ㉓西島加鶴代
- ㉔入江 淳
- ㉕児玉 暁代
- ㉖藤村 菊雄
- ㉗関 修治
- ㉘池見 榊雄
- ㉙荒巻 和子
- ㉚30年度まで

23年度まで

- ⑳岡田 雅晃
- ㉑山内 光
- ㉒古賀篤須美
- ㉓高倉 弘
- ㉔安西 豊毅
- ㉕久芳 正隆
- ㉖山口 利彦
- ㉗小島都美子
- ㉘大崎 順子
- ㉙吉富 晶子
- ㉚仲西 隆義
- ㉛瀧尾久仁子
- ㉜吉村 親
- ㉝曾我部さち
- ㉞川原 広子
- ㉟小野 深雪
- ①村山 和博
- ②柴田 実夫
- ③小林 圭助
- ④牧野 一男
- ⑤正木 利造
- ⑥中牟田正生
- ⑦鶴田 孝志
- ⑧梶原 達也
- ⑨柴田 満
- ⑩豊原 芳子
- ⑪大田 了
- ⑫柴田 光雄
- ⑬西川 清春
- ⑭丸山 弘子
- ⑮井上 修
- ⑯松田 茂實
- ⑰武藤 澄子
- ⑱豊嶋 昌代
- ⑲村下英都子
- ⑳近藤 睦子
- ㉑和氣 横子
- ㉒宗貞 澄枝

22年度まで

- ⑳明永 義光
- ㉑小西 幸治
- ㉒玄元 博子
- ㉓河原 重勝
- ㉔合原 明子
- ㉕有吉 雅子
- ㉖杉山 順子
- ㉗松尾 光男
- ㉘荒牧美紀子
- ㉙岡本 道子
- ㉚西野 健司
- ㉛立石 清志
- ㉜鳥山 昇
- ㉝川本 義男
- ㉞佐竹 三郎
- ㉟後藤 明
- ①金子 重義
- ②古屋 治男
- ③山崎 義信
- ④今村 和雄
- ⑤岡部 保登
- ⑥小淵川将吉朗
- ⑦磯山 嘉郎
- ⑧道面 新右
- ⑨中国 利明
- ⑩三嶋 清児
- ⑪飯田 康江
- ⑫上岡 清彦
- ⑬森本 繁
- ⑭大木 昭子
- ⑮稲田 敬男
- ⑯松本 良平
- ⑰重藤 千鶴
- ⑱三好 淳悟
- ⑲今林 弘子
- ⑳野依 節子
- ㉑柴田 文字
- ㉒中村 幸子

21年度まで

- ⑳坂井由紀子
- ㉑秋本 広幸
- ㉒川原 三泰
- ㉓高田 芳昭
- ㉔川原のぶ子
- ㉕田中 節子
- ㉖天野 久代
- ㉗佐藤るみこ
- ㉘宗 千津子
- ㉙大神 和子
- ㉚高田 敬弘
- ㉛末廣 律代
- ㉜川附 健一
- ㉝長野 祐子
- ㉞浦塚 健二
- ㉟川上 耕平
- ①森田 俊夫
- ②坂井 實浩
- ③木谷 和博
- ④古賀 雅浩
- ⑤南原 麻未
- ⑥久原 佑介
- ⑦佐々木忠雄
- ⑧荘山 雅敏
- ⑨松島 恒雄
- ⑩石橋 啓
- ⑪久野 金作
- ⑫菊地 信俊
- ⑬舟越 甲一
- ⑭有吉 幸男
- ⑮坂本 恒喜
- ⑯渡辺 勝美
- ⑰伊賀 良雄
- ⑱伊賀 寅彦
- ⑲大庭 繁
- ⑳金澤 恒雄
- ㉑長 新
- ㉒箱島 秀治

平成20年度会費納入者

(平成20年8月から11月末までご入金の方)

- ①竹下 勝子
- ②榊美恵子
- ③淵上日出行
- ④益田 敦子
- ⑤前川 博行
- ⑥松居 正
- ⑦金子 義定
- ⑧尾形由美子
- ⑨和美
- ⑩藤岡 信子
- ⑪山口 淳子
- ⑫安本 秀子
- ⑬内海 敏幸
- ⑭山田幸志郎
- ⑮浜 京子
- ⑯大園 綾子
- ⑰宮本 恵美
- ⑱古良 渡
- ⑲秋尾美恵子
- ㉑築後合幸則
- ㉒阿部 君代
- ㉓永野由加里
- ㉔中尾 裕子
- ㉕竹次 紗希
- ㉖豊田 晶
- ㉗西島 直人
- ㉘工藤 理沙

- ①高木 一信
- ②谷口 寛雄
- ③岡松 太郎
- ④戸木田嘉久
- ⑤中牟田義重
- ⑥山田 誠一
- ⑦石村 通泰
- ⑧篠原健次郎
- ⑨徳重 克郎
- ⑩野田 益雄
- ⑪山田 義一
- ⑫三浦千鶴香
- ⑬高田八重子
- ⑭森 英敏
- ⑮河村 德行
- ⑯有村 和子
- ⑰阿利 清美
- ⑱山田 誠一
- ⑲中牟田義重
- ⑳戸木田嘉久
- ㉑安土 博章
- ㉒養父 雅行
- ㉓富永 泰輔
- ㉔寺崎 興隆
- ㉕久我 八郎
- ㉖稲永 照夫
- ㉗井上 文子
- ㉘山内 政明
- ㉙一宮 親善
- ㉚池 頼利
- ㉛堀 弘子
- ㉜松尾 昌穂
- ㉝堀 季雄
- ㉞小塚 誠
- ㉟大隈清三郎
- ①新原 茂美
- ②水越 環
- ③中村 門二

- ①正木 幸生
- ②渡邊 節男
- ③葉山 昭男
- ④松本宗次郎
- ⑤安川 榮一
- ⑥中村 喜海
- ⑦松島 重吉
- ⑧安東ミサヲ
- ⑨阿刀 寛明
- ⑩江崎 利雄
- ⑪小西 醇一
- ⑫吉井 次雄
- ⑬中村 幸子
- ⑭岡部 守友
- ⑮田中 知範
- ⑯富永 精一
- ⑰藤尾 朝昭
- ⑱松尾 隆
- ⑲森田 敬
- ⑳平野ユリ子
- ㉑大塚 重敏
- ㉒古賀 眞信
- ㉓福田 順一
- ㉔安河内繁喜
- ㉕安恒 武士

- ①稲永美智子
- ②篠崎 博志
- ③本川 廣義
- ④後藤 和由
- ⑤田中 隆枝
- ⑥岩隈 孝彦
- ⑦副島 正剛
- ⑧平田 哲夫
- ⑨吉次 脩一
- ⑩上野 邦輔
- ⑪大井 虎輝
- ⑫大峯 徳男
- ⑬小澤 立
- ⑭後藤 文宏
- ⑮森 康幸
- ⑯坂本 國恵
- ⑰森 夕子
- ⑱春日 正弘
- ⑲長 和紀
- ⑳渡邊 哲彬
- ㉑青柳 秀瑠
- ㉒児嶋 信明
- ㉓吉本 泰浩
- ㉔江藤美矢子
- ㉕井岸 延子

- ①河村 徳雄
- ②藤野 茂
- ③光安 幸敬
- ④安田 昌幸
- ⑤光安 芳江
- ⑥宮本 信行
- ⑦松浦 豊喜
- ⑧中馬 勝子
- ⑨本田香代子
- ⑩山本 裕子
- ⑪曾木 東城
- ⑫田代登志夫
- ⑬鳥飼 正勝
- ⑭安松 昭一
- ⑮広渡 節雄
- ⑯穴見 保子
- ⑰久家 貞子
- ⑱堺 宣子
- ⑲空 紀行
- ⑳柳池 賢丸
- ㉑諸富久美子
- ㉒渡辺 民子
- ㉓高野 芳子
- ㉔滝浦 純子
- ㉕阿部 利美
- ㉖草場 征一
- ㉗米田 守治
- ㉘草場 孝子
- ㉙古賀 豊子
- ㉚佐伯 和子
- ㉛境 圭子
- ㉜増井 淳子
- ㉝伊川 秀美
- ㉞池田 喜男
- ㉟小森 馨
- ㊱清水 龍治
- ㊲町田由紀男
- ㊳吉田 正純
- ㊴中園 博文
- ㊵浅岡登紀子
- ㊶飯田喜美子
- ㊷小島 芳江
- ㊸菅 喜代子
- ㊹梁田 和子
- ㊺高田千恵子
- ㊻田丸恵美子
- ㊼本石美枝子
- ㊽和氣由利代
- ㊾後藤喜代子
- ㊿山田由美子
- ①小林啓一郎
- ②中村 和俊
- ③内野恵美子
- ④井上 透
- ⑤井上 禮一
- ⑥小柳 順治
- ⑦浜地 啓子
- ⑧半田 久子
- ⑨秋田リツ子
- ⑩田中 妙子
- ⑪折木八重子
- ⑫後藤 清
- ⑬金原美智子
- ⑭米村小夜子
- ⑮菊次 弥生
- ⑯高瀬 美葉
- ⑰佐々木 実
- ⑱堀本 昌之
- ⑲井手 講平
- ⑳北村 俊彦
- ㉑森松 茂
- ㉒鈴木 弘子
- ㉓堤 豊子
- ㉔柳瀬多美子
- ㉕蒲生 博子
- ㉖阿比留恭之
- ㉗河野 司
- ㉘柴田 隆
- ㉙月見 佳二
- ㉚常岡 知美
- ㉛土井 信一
- ㉜野上 誠
- ㉝野田 康典
- ㉞橋本 一美
- ㉟林田統一郎
- ㊱樋口 岩雄
- ㊲樋脇 正
- ㊳帆定 守正
- ㊴実淵 重樹
- ㊵八坂 洋一
- ㊶八尋 良郎
- ㊷柴田 満
- ㊸野口 正光
- ㊹太田励治郎
- ㊺武富 義清
- ㊻難波 清治
- ㊼伊東 輝世
- ㊽村田 潔子
- ㊾中西 照代
- ㊿久保 洋子
- ①吉崎 洋子
- ②波戸千代子
- ③日山喜代子
- ④久芳こずえ
- ⑤坂本 和江
- ⑥北方美智子
- ⑦初川恵美子
- ⑧黒田美智代
- ⑨木村 陽子
- ⑩佐野まき子
- ⑪小路口久美子
- ⑫谷川サキ子
- ⑬吉田 美保
- ⑭前崎美登里
- ⑮原田多枝子
- ⑯西原美喜枝
- ⑰浅野恵美子
- ⑱末松美代子
- ⑲山口加代子
- ⑳古村千代子
- ㉑下城 英美
- ㉒松嶋久美子
- ㉓国松寿美江
- ㉔難波ひとみ
- ㉕山川 玲子
- ㉖竹本 玲子
- ㉗横山恵美子
- ㉘城本 郁子
- ㉙原田扶津子
- ㉚永露 富子
- ㉛瀨川かおる
- ㉜中牟田恵美子
- ㉝荻原利恵子
- ㉞大神 正江
- ㉟本多 美苗
- ㊱松井 道子
- ㊲安部みよこ
- ㊳安尾美智子
- ㊴木村 洋子
- ㊵白石千子
- ㊶田畑 治末
- ㊷白岩富嗣子
- ㊸奥原 博子
- ㊹中野加代子
- ㊺吉村 昌子
- ㊻益尾 昌代
- ㊼栗原 万美
- ㊽三嶋 忠興
- ㊾白石果奈子
- ㊿山名 博史
- ①浜 寛
- ②井上 慶子
- ③能勢 房子
- ④岩崎 隆弘
- ⑤江上 秀信
- ⑥木野 由美
- ⑦谷口 正弘
- ⑧山田 政行
- ⑨野美恵子
- ⑩末吉美智子
- ⑪高 真由美
- ⑫山田 信
- ⑬桑野 靖子
- ⑭久富 史子
- ⑮西田 珠絵
- ⑯飛鳥昇喜美枝
- ⑰山田 玲子
- ⑱竹本 玲子
- ⑲横山恵美子
- ⑳城本 郁子
- ㉑原田扶津子
- ㉒永露 富子
- ㉓瀨川かおる
- ㉜中牟田恵美子
- ㉝荻原利恵子
- ㉞大神 正江
- ㉟本多 美苗
- ㊱松井 道子
- ㊲安部みよこ
- ㊳安尾美智子
- ㊴木村 洋子
- ㊵白石千子
- ㊶田畑 治末
- ㊷白岩富嗣子
- ㊸奥原 博子
- ㊹中野加代子
- ㊺吉村 昌子
- ㊻益尾 昌代
- ㊼栗原 万美
- ㊽三嶋 忠興
- ㊾白石果奈子
- ㊿山名 博史
- ①末吉美智子
- ②高 真由美
- ③山田 信
- ④桑野 靖子
- ⑤久富 史子
- ⑥西田 玲子
- ⑦飛鳥昇喜美枝
- ⑧山田 玲子
- ⑨竹本 玲子
- ⑩横山恵美子
- ⑪城本 郁子
- ⑫原田扶津子
- ⑬永露 富子
- ⑭瀨川かおる
- ⑮中牟田恵美子
- ⑯荻原利恵子
- ⑰大神 正江
- ⑱本多 美苗
- ⑲松井 道子
- ⑳安部みよこ
- ㉑安尾美智子
- ㉒木村 洋子
- ㉓白石千子
- ㉔田畑 治末
- ㉕白岩富嗣子
- ㉖奥原 博子
- ㉗中野加代子
- ㉘吉村 昌子
- ㉙益尾 昌代
- ㉚栗原 万美
- ㉛三嶋 忠興
- ㉜白石果奈子
- ㉝山名 博史
- ㉞浜 寛
- ㉟井上 慶子
- ㊱能勢 房子
- ㊲岩崎 隆弘
- ㊳江上 秀信
- ㊴木野 由美
- ㊵谷口 正弘
- ㊶山田 政行
- ㊷野美恵子

卒業回生別会費納入者数一覧表

卒業回生	20年度	前年度	卒業回生	20年度	前年度
21~30	14	18	71	14	13
31	11	12	72	16	26
32	14	14	73	10	9
33	12	12	74	10	11
34	8	10	75	19	24
35	22	25	76	6	7
36	13	11	77	11	12
37	20	22	78	10	10
38	22	27	79	23	24
39	37	43	80	15	11
40	46	44	81	14	14
41	42	39	82	20	21
42	42	46	83	13	9
43	36	38	84	14	6
44~45	60	70	85	6	7
46~47	58	65	86	7	7
48	35	32	87	6	7
49	20	23	88	2	3
50	66	64	89	4	4
51	90	92	90	4	4
52	88	86	91	2	3
53	60	61	92	2	1
54	84	92	93	1	1
55	99	102	94	4	3
56	99	95	95	3	4
57	86	92	96	2	2
58	87	89	97	2	2
59	94	91	98	2	3
60	71	67	99	1	1
61	55	64	100	1	6
62	63	65	101	8	4
63	103	93	102	4	6
64	60	60	103	5	6
65	31	30	104	7	20
66	40	36	105	17	315
67	38	36	106	301	
68	36	40	別1~別15	14	17
69	37	27	定1~定43	24	25
70	94	39			
			合計	2,617	2,620

物語者名 (前号より12月18日まで)

- ①山田 裕之
- ②古川 梓
- ③半田 文
- ④崎村 祐真
- ⑤半田 学
- ⑥林田 直子
- ⑦石橋 裕明
- ⑧財部 志保
- ⑨山上 保則
- ⑩徳永 陽子
- ⑪江上由美子
- ⑫今泉 葉子
- ⑬天本 治男
- ⑭藤井 信男
- ⑮川上 達
- ⑯永尾 允曠
- ⑰桑野 靖子
- ⑱山田 信
- ⑲高 真由美
- ⑳末吉美智子
- ㉑中牟田恵美子
- ㉒池田 正博
- ㉓緒方昭三郎
- ㉔北岡 淳
- ㉕新原 理
- ㉖堺 淳
- ㉗日高 義雄
- ㉘鶴島 菊枝千穂
- ㉙菅 政義
- ㉚福永 政幸
- ㉛井久保説男
- ㉜石川 健蔵
- ㉝小金丸克郎
- ㉞佃 幹雄
- ㉟山田 文子(木村)
- ㊱西山 初治
- ㊲堀江 武
- ㊳花田 森一
- ㊴古屋 博章
- ㊵落合興一郎
- ㊶小田部幸子
- ㊷川崎 純
- ㊸松本 秀親
- ㊹松崎 玲子
- ㊺竹中 義正
- ㊻山中れい子(橋本)
- ㊼石橋 和馬
- ㊽板花 良明
- ㊾黒原 博子(中山)
- ㊿平川 笑子
- ①千葉志津子(谷川)
- ②井上 信寿
- ③今村 公隆
- ④柴田江里子(今村)
- ⑤西中 健司

会員のご協力に対し深く感謝し、厚くお礼申し上げます。
 会費は母校への奨学金給付、体育部奨励金の寄付等有益に運用させていただいております。
 これからも年会費の納入についてご協力賜りますようお願い申し上げます。
 なお会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが、既に納入済みの方は
 ご容赦下さい。



GENKI COMPANY
元気印の企業紹介!

vol.13

和光の手焼きせんべい
株式会社 野田和光堂



創業以来48年間の時を刻んで 発展できたことは、終生の喜びです

野田 仁久さん(46 回生)

53年間の交流

野田仁久氏と私との交際は、昭和30年から始まり現在に至るまで、実に53年の長きに及ぶ。彼が一流会社を辞め、脱サラし菓子業界に飛び込んだ直後に知り合うことができた。彼の人となり事業なりを紹介したい。

彼は昭和18年4月、筑紫郡日佐小学校から唯一人福岡商業学校に入学。鉄筋コンクリート二階建ての堂々たる校舎に驚いたそうだ。戦時中でもあり、2年生からは勤労奉仕として席田飛行場(現福岡空港)の滑走路造りや軍需工場に駆り出され、学校生活は5年間のうち3年足らずで終わった。

脱サラから菓子業界へ

卒業後、三菱化成に就職。その後、財閥解体で旭硝子へ社名変更になり、6年間勤務した。本人は独立精神旺盛で、周りの人たちの引き留めも聞かず退職。6年間転職を繰り返し挫折、苦節を味わうことになるが、昭和36年、菓子製造を営む経営者と知り合い、会社を負債肩代わりで譲り受けることになる。当時は30歳で資金も信用もなく、無一文からの独立となった。その頃の菓子業界は、徒弟制度が残っていて、その殻を打ち破って独立開業したことには、大いに脱帽したことを憶えている。彼は当時のことを振り返って「ただがむしゃらに働きました。

福商出身の諸先輩に助けられ、学校で学んだことが私を自立の道へ導いてくれた。」と感謝の気持ちで話してくれた。

その後、会社の発展ぶりは目覚ましいものがあり、次から次へと創作物を発表し、人々をあっと言わせ、菓子業界の階段を駆け上って行った。創業時から原料は国産、地産地消にこだわり、持ち前の旺盛な研究心と不撓不屈の精神が、今日の成功を勝ち得たと信じている。彼は「商売は、すべて自己責任であり、信用、信頼、律義を重んじ、将来あるべき姿を考え努力を重ねれば夢はかなう。創業以来48年間の時を刻んで発展できたことは、終生の喜びです」と最後に語ってくれた。彼と知り合って半世紀を過ぎたが、その友情は心温まるものであり、生涯の友を得たと日々感じている。今後ますますの発展を心より祈る次第である。

時津 春雄(41回生)

経営信条

他山の石、日々に学べ



和光の手焼 **せんべい** (株)野田和光堂

昔懐かしいおいしさの秘密は全て手づくりと素材へのこだわりです。〈取り扱い商品〉手焼きせんべい・カステラ

【住所】
福岡県福岡市博多区美野島 1-9-27
【TEL】(092)431-4425
【FAX】(092)475-3315
【URL】www.e-senbei.com



国産100%の小麦粉と副原料をミネラル水で加工。創業以来変わらぬ製法で体にやさしいおせんべいを作っています。

株式会社 野田和光堂

NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータネットワークシステム構築等 代表取締役 跡部 宗教 (79回生)
ホームページ企画・制作・コンサルティング ATOBE MUNENORI
システムインテグレーションサービス
インターネット・WEBデザイン 福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 具真ビル2F
Total Support Of Computing TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

DALIA
INCORPORATED

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
Fuji Takaki

株式会社 ダリア
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail/f-takaki@dalia.co.jp
http://www.dalia.co.jp

JKoide オーナーシェフ
Patisserie KOIDE **小出 淳一** (80回生)
Junichi Koide
~ Since 1966 ~

〒815-0075 福岡市南区長丘5-25-10
TEL/FAX 092-511-3987
http://www.kyushu-cake.com/fukuoka/koide

「うまい!」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役社長 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

傑作まんじゅう **博多通りもん** 筑前博多様

株式会社 **明月堂**

秋丸 武士 (58回生)

〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-11-23
TEL(092)411-7777 FAX(092)411-7878

総合建設業一級建築士事務所

株式会社 五成建業

取締役会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151 (代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL (092) 503-0121 (代)
FAX (092) 504-1219

Ad Agency
株式会社 **春潮社**
since 1933 Shun cho sha

代表取締役 **古川 淳二** (63回生)

□本 社 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-12
092-641-1031 092-631-2690
営業所/営業部 久留米
交通広告/電柱広告/開院/開業ツール/マス媒体広告/SP広告/屋外広告
www.shunchosha.co.jp

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 **中島晴薫堂**

代表取締役 会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

福岡テープ株式会社

代表取締役 糸永 清二 (55回生)

福岡市博多区那珂3丁目2-4
TEL 092-411-3929 (代)

創業121周年 **imai PRINTING**

代表取締役 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番20号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する { 総合建設業・木材業
粕屋グループ } 不動産業・アバマン粕屋店

一級建築士事務所

粕屋殖産株式会社

代表取締役 会長 **篠原隆義** (54回生)

本 社 粕屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331 番

有限会社 **エステート平野**

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号
TEL (092) 431-5616

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役 会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話 (092) 721-4531 番

玄海の磯の香りをそのまま直送

生け簀魚村
壽司 刺身 居酒屋

福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎ (092) 781-7388
代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

SEIKO PRINTING 本造りのプロフェッショナル

正光印刷株式会社

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266
携 帯:(090)8761-1725
藤村 みつ (53回生)

倶楽部 **萌** since 1999

長谷 州身子 (81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F
TEL092(262)5577

株式会社 エル三和
株式会社 三和物産
EL.SANWA

常務取締役 **石橋 徹也** (57回生)

〒812-0863 福岡市博多区金の隈2丁目20番61号
TEL 092-583-3213 FAX 092-503-0066

記事投稿のお願い

会員皆様からの記事投稿をお願いしております。随想、俳句、写真、趣味や同舟
往来の紹介など何でも結構です。ご連絡をお待ちしております。

〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-57 **社団法人 福商会**

TEL:092-711-9890 FAX:092-711-9266

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

会館だより

奨学育英基金に寄付相次ぐ

～全国合同同窓大会の当番幹事83回生ほか～

11月11日、全国合同同窓大会の副実行委員長を務めた大神智香子さん(83回生)が会館を訪れ、同窓大会の収益金を「奨学金に役立ててください」と持参されました。83回生皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。また、12月2日にも後藤長兵衛先輩(31回生)が訪れ「母校の発展に役立てて欲しい」と多額の寄付がありました。ご芳情に心よりお礼申し上げます。



丑年の絵ハガキが届きました



平成21年1月で93歳になられる、珠々会顧問の山本武先輩(30回生)から新年を祝っての絵ハガキが届きました。ありがとうございます。

平成21年度合同同窓会

～当番幹事活動始まる～

平成21年度の全国合同同窓大会の当番幹事を務める84回生の皆さんは、8月に学年同窓会を開いた後、定期的に福商会館に集まり、合同同窓会の準備に向け、活動を始めています。福商会会員の皆様のご参加よろしくお願ひいたします。



甲斐よしひろさん(70回生)が本を出しました

ミュージシャンとして活躍している甲斐さんが、2006年に西日本新聞に連載した「九州少年」を一冊の本にまとめて出版しました。東京に出るまで、博多での生活が生き生きと描かれています。また、週刊文春10月9日号では、阿川佐和子さんとの対談が掲載されました。



「九州少年」
ランダムハウス講談社：価格¥1,500

広報委員募集!!

福商会報は会員の皆様に興味を持ち、楽しんでいただけるような「ビジュアルで読みやすく」をモットーに編集しています。現在、10名の広報委員で誌面づくりを行っていますが、会報の編集に興味のある方を募集して

います。ボランティア活動ができる方で、毎月一回(原則水曜日、17時から1時間程度)参加できる方。是非ともご紹介、お手伝いしていただける方がいらっしゃれば、事務局までご連絡をお願いいたします。>>>>>>> 福商会事務局
TEL092-711-9890 info@fukushokai.or.jp

編集後記

あけましておめでとうございます。2008年度の会報発行にあたりましては、広報委員をはじめ関係各位の御尽力と御協力によりまして充実した紙面となり、同窓生の皆さんに喜んでいただけましたことに感謝申し上げます。2009年度もより多くの投稿をお願いします。

後藤 幹生(55回生)

福商会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。「今年も健康で、良い年でありますように」と願うばかりです。最近、クラス会、学年同窓会や部活OB会などが活発に行われているようで、会報への投稿が増えており、大変嬉しく思っています。母校が学業、部活動で活躍し、同窓の皆様が各分野でご活躍されますことを、心からお祈りいたします。

川瀧 哲雄(63回生)

新年あけましておめでとうございます。光陰矢の如し…年齢を重ねるほど実感する言葉です。さて、今年には110周年記念事業の編集などが始まります。会員皆様の情報提供をどうぞよろしくお願い申し上げます。私も微力ながら、何事にも努力邁進していきたいと思ひます。

大野 榮子(80回生)

記事に関するお問い合わせは福商会事務局へ

TEL.092-711-9890 FAX.092-711-9266